

2. 学生の動向

2-1. 指導学生数 推移

2-1-1. 学部

	2 年次学生		
	25 年度	26 年度	27 年度
行動学	40	48	42
社会学	46	29	27
教育学	43	46	53
グローバル人間学	12	14	21
人間科学コース	9	8	12
配属外	1	2	0
計	151	147	155

(人)

	3 年次学生		
	25 年度	26 年度	27 年度
行動学	35	43	51
社会学	40	49	33
教育学	54	46	49
グローバル人間学	21	13	15
人間科学コース	8	9	8
配属外	0	1	0
計	158	161	156

(人)

	4 年次学生		
	25 年度	26 年度	27 年度
行動学	41	37	48
社会学・人間学	63	50	57
教育学	67	61	56
グローバル人間学	24	25	20
人間科学コース	0	7	12
配属外	1	1	2
計	196	181	195

(人)

学部卒業生

	学部卒業生		
	25 年度	26 年度	27 年度
行動学科目／専修	36	32	39
社会学・人間学科目／専修	53	41	47
教育学科目／専修	58	50	45
グローバル人間学	18	18	16
ボランティア人間科学	1	0	0
計	166	141	147

(人)

2-1-2. 博士課程前期

	前期 1 年生		
	25 年度	26 年度	27 年度
先端人間科学	0	4	1
人間行動学	7	6	14
行動生態学	7	8	3
社会環境学	15	19	18
基礎人間科学	10	10	7
臨床教育学	18	18	20
教育環境学	16	12	12
人間開発学	12	13	10
地域研究	4	10	7
計	89	100	92

(人)

	前期 2 年生		
	25 年度	26 年度	27 年度
先端人間科学	2	1	5
人間行動学	12	5	8
行動生態学	5	7	10
社会環境学	19	23	23
基礎人間科学	9	13	16
臨床教育学	22	16	22
教育環境学	15	22	18
人間開発学	26	14	15
地域研究	6	5	13
計	116	106	130

(人)

大学院博士前期課程修了者

(前期 3 年以上の在籍を含む)

	博士前期課程		
	25 年度	26 年度	27 年度
先端人間科学	2	0	4
人間行動学	11	2	7
行動生態学	1	5	9
社会環境学	23	19	17
基礎人間科学	8	7	8
臨床教育学	19	11	17
教育環境学	15	16	10
人間開発学	19	11	9
地域研究	4	2	6
計	102	73	87

(人)

2-1-3. 博士課程後期

	後期 1 年生		
	25 年度	26 年度	27 年度
先端人間科学	4	1	0
人間行動学	7	5	0
行動生態学	2	0	2
社会環境学	7	8	7
基礎人間科学	5	4	10
臨床教育学	14	11	13
教育環境学	2	8	4
人間開発学	6	5	0
地域研究	1	1	3
計	48	43	39

(人)

	後期 2 年生		
	25 年度	26 年度	27 年度
先端人間科学	1	4	1
人間行動学	4	8	5
行動生態学	2	2	0
社会環境学	4	7	8
基礎人間科学	10	5	4
臨床教育学	8	14	11
教育環境学	7	2	7
人間開発学	4	6	5
地域研究	2	1	1
計	42	49	42

(人)

	後期 3 年生		
	25 年度	26 年度	27 年度
先端人間科学	0	1	5
人間行動学	8	5	11
行動生態学	4	2	3
社会環境学	16	15	14
基礎人間科学	13	19	19
臨床教育学	26	23	27
教育環境学	10	12	8
人間開発学	14	14	13
地域研究	4	5	3
ボランティア人間科学	1	0	0
計	96	96	103

(人)

(後期 4 年以上の在籍を含む)

大学院博士後期課程修了者

	博士後期課程		
	25 年度	26 年度	27 年度
先端人間科学	0	0	3
人間行動学	4	1	3
行動生態学	1	1	2
社会環境学	2	2	3
基礎人間科学	0	0	0
臨床教育学	1	2	4
教育環境学	1	0	2
人間開発学	2	2	3
地域研究	0	1	0
ボランティア人間科学	0	0	0
計	11	9	20

(人)

(注) 大学院博士後期課程修了者とは、学位取得者のことを指す。

2-2. 2015 年度 大学院生の研究活動記録

注

1. 印刷中であっても、掲載が決まっているものは、本年度実績として記載可。
2. 記載方法及び論文の審査有無は院生自身の自己申告による。

2-2-1. 先端人間科学

先端 人間科学	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	12 名	9 名	75.0 %	7 名	58.3 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	前迫 孝憲	講座/研究分野	コミュニケーションメディア
------	-------	---------	---------------

学生氏名	MARIFE CARPIO	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	Assessment of Education Services for Immigrant Children with Physical Disabilities in Manila, Philippines	Belarga Oliver, <u>Carpio Marife</u> , Nakamura Yasuhide	201502	International Contemporary Research Journal in Management and Social Science	○	
学術論文 (学会誌)	Learners’ perceptions on Computer Assisted Non-formal Education in Community Learning Centers	<u>Carpio Marife</u> , Maesako Takanori	201511	South Asia Journal of Multidisciplinary Studies	○	
学術論文 (学会誌)	Scoping Study on the Use of TV White Space in Philippine Education	<u>Carpio Marife</u> , Guillao Jo Ann	201512	Asian Journal of Educational Research	○	
学術論文 (学会誌)	New Exploration of Distance Education in Philippines: The Application and Practice of TV White Space	<u>Carpio Marife</u> , Li Zhe, Sun Zhi, Zhao Simiao, Zhang Hai	201512	China Informational Technology Journal	○	
学術論文 (学会誌)	Struggles in Academic Research in Educational Technology	Li Zhe, <u>Carpio Marife</u> , Sun Zhi, Zhao Simiao	201602	China Informational Technology Journal	○	
学術論文 (学会誌)	A Literature Review of Research on Knowledge Building in Education	Sun Zhi, Li Zhe, Zaorski Spence, <u>Carpio Marife</u>	201603	Annals of Educational Studies	○	
国際会議 (proc.あり)	Learning Spaces for ICT-based Non-formal Education in the Philippines	<u>Carpio Marife</u> , Belarga Oliver	201509	31st Annual Conference of Japan Society for Educational Technology	○	
国際会議 (proc.あり)	The Implications of TV White Space to Development Programs in Philippine Rural Areas	Carpio Marife	201501	IAFOR’ s Asian Conference on Society, Education, and Technology	○	
国際会議 (proc.あり)	Effects of Video Documentaries on the Writing Styles of Students	<u>Carpio Marife</u> , Reyes Reden, Fuchigami Christine Grace	201511	8th International Conference of Education, Research and Innovation (by the International Academy of Technology, Education and Development)	○	
国際会議 (proc.あり)	Enhancing Rather than Enforcing: Effect of disaster education programs on typhoon preparedness among school children in Levte, Philippines	Belarga Oliver, <u>Carpio Marife</u>	201510	International Association of Peace, Humanitarian Aid and Service	○	

指導教員	苅阪 満里子	講座/研究分野	心と脳の科学・減災人間科学
------	--------	---------	---------------

学生氏名	東 美由紀		学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	How two brains make one synchronized mind in the inferior frontal cortex: fNIRS-based hyperscanning during cooperative singing		Naoyuki Osaka, Takehiro Minamoto, Ken Yaoi, <u>Miyuki Azuma</u> , Yohko Minamoto Shimada, and Mariko Osaka.	201511	Frontiers in Psychology	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	東 美由紀	平成 27 年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	新井 智大	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
発表 (その他)	ワーキングメモリとマインドフルネスの関係性	新井智大・苅阪満里子	201512	第 13 回日本ワーキングメモリ学会	○	

指導教員	渥美 公秀	講座/研究分野	心と脳の科学・減災人間科学
------	-------	---------	---------------

学生氏名	高森 順子	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	ことばをめぐる実践と考察	渥美公秀・石原凌河・ 近藤誠司・杉山高志・ 住田功一・高野尚子・ 高森順子・宮本匠・矢 守克也	201602	日本災害復興学会学会誌「復興」	—
学術論文 (学会誌)	持続可能な災害伝承の「場」の構築に向けた 実践的研究 — 阪神・淡路と東日本における 継続的な災害伝承活動の比較から —	高森順子・福岡孝則・ 槻橋修	201601	生協総研賞第 12 回助成事業研究論文集	—
国内学会	災害体験の持続的な伝承を目指すための実践 的研究 被災地の継続的な定点観測撮影を通 じて	高森順子・山口洋典・ 渥美公秀	201510	日本質的心理学会第 12 回大会	—
国内学会	不在の他者を知覚する手段としての被災地の 定点観測活動 災害体験の伝承に関する実践 的研究(1)	高森順子・山口洋典・ 渥美公秀	201510	日本グループ・ダイナミックス学会第 62 回大会	—
国際会議 (proc.あり)	Trial Methods of Understanding the Experiences of Disaster: Unique Use about Writing Captions on Disaster Photographs	Takamori, J., Yamaguchi, H., and Atsumi, T.	201510	The 6th Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management(IDRiM)	○

学生氏名	大門 大朗	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	大学ボランティアセンターの設置が震災後の 学生ボランティアに与える影響	大門大朗・太刀掛俊之	201511	大学教育学会 2015 年度課題研究集会	—
国内学会	シミュレーションを用いた災害ボランティア の基礎的研究(1): 1995 年と 2011 年では何が 違ったのか	大門大朗・渥美公秀	201510	日本グループ・ダイナミックス学会第 62 回大会	—
国内学会	「被災地のリレー」の計量調査-東日本大震災 後の日本社会に着目して-	大門大朗・李永俊・渥 美公秀	201509	日本災害復興学会 2015 年度東京大会	—
国内学会	シミュレーションを用いた災害ボランティア の基礎的研究(2): 被災地のリレーが成立する 時	大門大朗・渥美公秀	201509	第 34 回日本自然災害学会学術講演会	—
国内学会	災害時における利他行動の規定要因の比較分 析: 東日本大震災後の日本社会に着目して	大門大朗・李永俊・三 谷はるよ・渥美公秀	201509	日本心理学会第 79 回大会	—
国際会議 (proc.あり)	Will 'Pay-it-Forward' Network trigger inter-survivor support?	Daimon, H., Atsumi, T., & Lee, Y. J.	201510	Integrated Disaster Risk Management 2015	○
国際会議 (proc.あり)	Altruistic Sentiment and Volunteering.	Lee, Y. J., & Daimon, H.	201510	Integrated Disaster Risk Management 2015	○
国際会議 (proc.あり)	Who are Volunteers in Japan' s Disaster Zone?	Lee, Y. J., & Daimon, H.	201503	2015 Annual Meeting, the Society for Applied Anthropology	—
国際会議 (proc.あり)	A case study of 3.11 Tohoku Earthquake 'Pay-it-Forward' Network from survivor to rescuer.	Daimon, H., & Atsumi, T.	201503	2015 Annual Meeting, the Society for Applied Anthropology	—
国際会議 (proc.あり)	Pay-it-Forward' Network from survivor to rescuer.	Daimon, H., & Atsumi, T.	201503	Public forum, Third UN World Conference on Disaster Risk Reduction	—
国際会議 (proc.あり)	Pay-it-Forward' Network from survivor to rescuer.	Daimon, H., & Atsumi, T.	201503	IGNITE Stage, Third UN World Conference on Disaster Risk Reduction	○
発表 (その他)	March 11th, 2011 Great East Japan Earthquake 'The situation and vision for recovery in Noda Village.'	Kangyu, T., & Daimon, H.	201503	2015 Annual Meeting, the Society for Applied Anthropology (通訳として発表)	—
発表 (その他)	'Pay-it-forward' network from survivors to rescuers -a case study of 311 Tohoku and 117 Kobe Earthquake	Daimon, H.	201508	Disaster Research Center, University of Delaware (研究会発表)	—
発表 (その他)	東日本大震災後の支援行動に関する「被災地 のリレー」の計量調査	大門大朗・渥美公秀	201603	東日本大震災研究交流会(日本社会学会)	—
著書	災害ボランティアの労働供給行動と利他的行 動	李永俊・大門大朗	201603	永田素彦・河村信治・李永俊(編) たち あがるのだー岩手県九戸郡野田村の地域 力 東日本大震災からの復興(3), 弘前大 学出版会	—
その他	災害と学生	大門大朗	201512	こうちNPOフォーラム 2015「NPOの シンカのカタチ」、講演会発表	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201510	Daimon, H.	Young Scientist Award Third Prize	IDRiM Society
201508	大門大朗	2015 年度 トラベルアワード	日本心理学会

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201505	大門大朗	ICPSR Summer Program 参加補助金	ICPSR 国内利用協議会

201503	大門大朗	グローバル共生プログラム国連防災会議でのGLOCOL主催イベント	大阪大学
201506	大門大朗	独創的な教育研究活動経費	超域イノベーション博士課程プログラム

学生氏名	宮前 良平	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	震災前の写真を用いたワークショップの事例報告	宮前良平・渥美公秀	201509	第34回日本自然災害学会 年次学術講演会	—	
国内学会	復興による喪失という視点から見た被災写真返却活動	宮前良平・渥美公秀	201510	日本災害復興学会大会 2015 年度東京大会	—	
国内学会	被災写真返却活動における「めざす」と「すゝす」	宮前良平・渥美公秀	201510	質的心理学会大会 2015 年度大会	—	
国内学会	写真返却活動において返却されるものは何か?	宮前良平・渥美公秀	201510	日本グループ・ダイナミックス学会第62回大会	—	
国内学会	野田村における被災写真返却活動の取り組み	宮前良平・渥美公秀	201510	日本グループ・ダイナミックス学会第62回大会	—	
国際会議 (proc.あり)	Rescuing Pictures (Picturescue) Movement for Disaster Recovery	Ryohei Miyamae, Tomohide Atsumi	201510	The 6th Conference on Integrated Disaster Risk Management	○	
国際会議 (proc.あり)	Collective Tools For Disaster Recovery: Recalling Communal Pride And Memory Through Community Radio And "PICTURESCUE"	Tomohide Atsumi, Yuko Ishiduka, Ryohei Miyamae	201510	The 6th Conference on Integrated Disaster Risk Management	○	
発表 (その他)	写真のチカラ写真返却活動から見えてきたもの—	浅田正志・外館真知子・宮前良平	201506	第28回大阪大学野田村サテライトセミナー	—	
発表 (その他)	The Pawns of Kensington and Toyokawa: Vulnerability of the Marginalized in Toronto and Osaka	Ryohei Miyamae, Lisa Nishiyama, Sha Sin, Soye Kim, Miku Ogawa	201505	University of Toronto Summer School	—	
発表 (その他)	豊川×未来共生 (T×R)	宮前良平・小川未空・金素譽・田中稜	201508	プロジェクト・ラーニング最終報告会	—	
発表 (その他)	東北の震災から学ぶもの	宮前良平	201510	豊川いのち・愛・ゆめセンター人権講座	—	
報告書(大学/ 研究所等)	震災体験を聞くことの困難さ あるインタビューアーの苦悩	宮前良平	201504	志津川小学校避難所記録保存プロジェクト中間報告書	—	
報告書(大学/ 研究所等)	An attitude survey 4 years after the eruption of Mt. Merapi in Yogyakarta, Indonesia	Ryohei Miyamae	201503	Fieldwork in Yogyakarta, Disaster Management & Humanitarian	—	

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201509	宮前良平	昔の写真見て思い出 野田仮設住宅の住民交流会	デーリー東北
201509	宮前良平	思い出を語り合うワークショップ 写真で紡ぐ思い出	広報のだ

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201503	宮前良平	次世代防災研究者連盟第1回学生発表大会優秀発表賞	次世代防災研究者連盟
201510	Ryohei Miyamae	The prize of paper award in Young Scientists Session	Society for Integrated Disaster Risk Management

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201506	宮前良平	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム独創的教育研究活動経費	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム

学生氏名	乾 陽亮	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
研究ノート	独居高齢者に適した防災を目指して	乾 陽亮・渥美公秀	印刷中	未来共生学』第3号	—	
国内学会	防災第三世代の理論と実践を目指して(1)	乾 陽亮・渥美公秀・檜垣龍樹	201510	日本グループ・ダイナミックス学会 第62回大会	—	
国際会議 (proc.あり)	Education for disaster prevention with knotworking	Yosuke Inui, Tomohide Atsumi	201510	IDRiM 2015 Conference	○	
発表 (その他)	ネパール報告会 in 八戸	渥美公秀・稲場圭信・河村信治・乾陽亮	201602	ネパール被災地に関する調査報告	—	
報告書(大学/ 研究所等)	ネパール地震被災地の災害対応に学ぶ防災の可能性	渥美公秀・稲場圭信・河村信治・乾陽亮	201603	ネパール科研報告会	—	

2-2-2. 行動学系

行動学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	
	56 名	54 名	96.4 %	43 名	76.8 %	※在籍者には休学者を含む

指導教員	森川 和則	講座/研究分野	基礎心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	鮎本 一貴	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	日本人の背景重視傾向は母語の文法的語順の影響かー風景画像の再認記憶による日本人と中国人の比較ー	鮎本一貴・松下戦具・森川和則	201509	日本心理学会第 79 回大会 (名古屋国際会議場)	—	

学生氏名	武藤 拓之	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	人間は考える「足」である？——足と手を前に出す動作による空間的視点取得の促進・抑制効果——	武藤拓之・松下戦具・森川和則	201507	日本認知心理学会第 13 回大会	—	
国内学会	人間は考える「足」である？——移動に関連した動作が空間的視点取得に果たす役割——	武藤拓之・松下戦具・森川和則	201509	日本心理学会第 79 回大会	—	
発表 (その他)	人間は考える「足」である？——空間的視点取得の際に使われる身体イメージと移動動作との関係——	武藤拓之	201505	第 29 回関西若手実験心理学研究会	—	
発表 (その他)	空間的視点取得における身体移動イメージの役割	武藤拓之	201507	第 53 回 Internet Vision Meeting	—	
発表 (その他)	mental spatial transformation としての視点取得——身体化認知アプローチと個人差——	武藤拓之	201509	空間認知研究会 2015	—	
発表 (その他)	心的視点変換は角度差に応じて質的に異なる 2 つのスキルを要求する——実験データへの探索的因子分析の適用——	武藤拓之・松下戦具・森川和則	201603	第 14 回注意と認知研究会 (予定)	—	

学生氏名	小林 勇輝	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	周辺視における表情変化・人物変化の検出容易性比較	小林勇輝・松下戦具・森川和則	201509	日本心理学会第 79 回大会	—	
国際会議 (proc.なし)	Fair Share	Yusuke Takeno, Yuki Kobayashi, Kana Kushida.	201510	A-DEWS2015	—	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201510	Yusuke Takeno, Yuki Kobayashi, Kana Kushida.	A-DEWS Student Challenge 優勝	A-DEWS2015

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201510	小林勇輝	独創的な教育研究活動経費	大阪大学未来戦略機構

指導教員	篠原 一光	講座/研究分野	応用認知心理学
------	-------	---------	---------

学生氏名	田 飛	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	聴覚空間手がかりの呈示によるサイモン効果への影響	田 飛	201509	日本心理学会	—	
国内学会	聴覚アクセサリ刺激の呈示によるサイモン効果への影響	田 飛	201507	日本認知心理学会	—	

学生氏名	北村 昭彦		学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル		著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Comparison between Binocular and Monocular Augmented Reality Presentation in a Tracing Task		Akihiko Kitamura, Hiroshi Naito, Takahiko Kimura, Kazumitsu Shinohara, Takashi Sasaki and Haruhiko Okumura	201509	映像情報メディア学会誌, Vol. 69 (2015) No. 10 p. J292-J297	○
国際会議 (proc.あり)	Visibility and accuracy in a monocular augmented reality system		Akihiko Kitamura, Kazumitsu Shinohara, Takahiko Kimura, Takashi Sasaki	201511	SA '15 SIGGRAPH Asia 2015 Head-Up Displays and their Applications/SA' 15 Workshop on HUD	—

学生氏名	藤井 達史	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	視覚的一聴覚的注意課題間におけるマインドワンダリングの違い	紀ノ定保礼・藤井達史・篠原一光・伝保香織・塩谷武司・芝垣佑美	201507	日本認知心理学会 第13回大会	—	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	藤井達史	特別研究員奨励費	日本学術振興会

学生氏名	藤原 悠史	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	両眼・単眼に提示された虚像に対する情報処理(3) - 提示位置の異なる虚像に対する距離知覚 -	藤原悠史・篠原一光・ 紀ノ定保礼・木村貴彦	201509	日本心理学会第 79 回大会	—	

指導教員	釘原 直樹	講座/研究分野	対人社会心理学
------	-------	---------	---------

学生氏名	内田 遼介	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	スポーツ集団の心理状態を評価する枠組みの提案: 集合的効力感と集団凝集性による 2 次元アプローチ	小林未希代・内田遼介・土屋裕睦	印刷中	体育学研究	○	
国内学会	集合的効力感の集団内分散の予測力に関する探索的検討	内田遼介・河津慶太・釘原直樹	201508	日本体育学会第 66 回大会（国士舘大学）	—	
国内学会	スポーツ集団における集合的効力感の評価形成過程	内田遼介・釘原直樹	201511	日本社会心理学会第 56 回大会（東京女子大学）	—	
国内学会	Asch 型同調実験（集団サイズ 2 人～8 人）の 30 年ぶりの追試 ——現代の中高年と女性は集団圧力に弱い——	釘原直樹・寺口司・内田遼介・阿形亜子	201511	日本社会心理学会第 56 回大会（東京女子大学）	—	
国際会議 (proc.あり)	Predictive power of the collective efficacy dispersion on cohesion in sport teams.	Uchida, R., & Kugihara, N.	201510	30th Annual Conference of Association for Applied Sport Psychology, Indianapolis	○	
発表 (その他)	集合的効力感の形成過程に関する実験的検討	内田遼介	201505	第 13 回スポーツ動機づけ研究会	—	
発表 (その他)	スポーツ集団内における集合的効力感の評価形成過程	内田遼介	201512	関西体育心理例会	—	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	内田 遼介	平成27年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	曹 美庚		学年	DC3	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	身体接触行動の異文化比較	曹美庚・釘原直樹	201509	日本心理学会第 79 回発表論文集/日本心理学学会	○
国内学会	身体接触行動の日韓比較	曹美庚・釘原直樹	201509	異文化コミュニケーション学会第 30 回発表論文集/異文化コミュニケーション学会	○
国内学会	日韓大学生の身体接触行動に関する比較研究	曹美庚・釘原直樹	201510	日本社会心理学会第 56 回発表論文集/日本社会心理学会	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	曹美庚	平成 27 年度科学研究費助成金（基盤研究 C）	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	寺口 司	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	Effects of labeling and group category of evaluators on evaluations of aggression.	Teraguchi, T. & Kugihara, N.	201512	PLOS ONE. DOI: 10.1371/journal.pone.0144384.	○
国内学会	加害者は何を思う？攻撃行動に対する評価と評価推測に集団カテゴリーが与える影響	寺口 司・釘原直樹	201510	日本グループ・ダイナミックス学会第 62 回大会	—
国内学会	攻撃行動に対する評価・評価推測に集団カテゴリーが与える影響	寺口 司・釘原直樹	201511	日本社会心理学会第 56 回大会	—
国内学会	Asch 型同調実験（集団サイズ 2 人～8 人）の 30 年ぶりの追試—現代の中高年と女性は集団圧力に弱い—	釘原直樹・寺口 司・内田遼介・阿形亜子	201511	日本社会心理学会第 56 回大会	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	寺口 司	平成 27 年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	武藤 麻美	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	空間的距離の認知が社会的距離に及ぼす影響——外集団間の差異に焦点を当てて——	武藤麻美・釘原直樹	201511	応用心理学研究, 41, 207-216.	○
国内学会	家族形態に対する社会的距離に関する研究——性役割態度と帰属複雑性の効果の検討——	武藤麻美・釘原直樹・桂田恵美子	201511	日本社会心理学会第 56 回大会, pp97.	—

学生氏名	法 弁	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	恐怖管理理論に基づく利他行動の促進要因の検討	法 弁・釘原 直樹	201510	グループ・ダイナミックス学会	—
国内学会	恐怖管理理論に基づく募金行動促進要因の検討	法 弁・釘原 直樹	201511	社会心理学会	—

学生氏名	正高 杜夫	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(その他)	集団間のカテゴリーの重複が攻撃行動に及ぼす影響	正高杜夫・釘原直樹	201510	日本社会心理学会	—

学生氏名	清水 計法	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	功利主義的義務感による利他行動	清水計法・釘原直樹	201511	日本社会心理学会第 56 回大会(東京女子大学)	—
発表(その他)	利他義務の配分を規定する功利主義的社会規範	清水計法	201512	公正研究会(法政大学)	—

学生氏名	大工 泰裕	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	詐欺場面における被害者への原因帰属が脆弱性認知に及ぼす影響	大工泰裕・釘原直樹	印刷中	応用心理学研究	○
学術論文(学会誌)	被害者への共感的観察が脆弱性認知に及ぼす影響——詐欺被害事例を用いた検討——	大工泰裕・阿形亜子・釘原直樹	印刷中	対人社会心理学研究	○
国内学会	詐欺への抵抗はどのようにして生まれるのか？—詐欺被害者への原因帰属と脆弱性認知との関連—	大工泰裕・釘原直樹	201509	第 81 回日本応用心理学会大会	—
国内学会	被害者への共感的観察が詐欺に対する脆弱性認知に及ぼす影響	大工泰裕・阿形亜子・釘原直樹	201510	第 56 回日本社会心理学会大会	—
国際会議(proc.なし)	Does empathetic observation increase individuals' awareness of their vulnerability to scams?	Yasuhiro Daiku, Ako Agata, Naoki Kugihara	201601	The 17th Annual Convention of the Society for Personality and Social Psychology	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201506	大工 泰裕	学部生・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	大阪大学
201511	大工 泰裕	博士課程学生海外派遣支援事業（学長リーダーシップ枠）	大阪大学

学生氏名	竹内 穂乃佳	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (その他)	災害被害者への責任帰属の検証	竹内穂乃佳・釘原直樹	印刷中	対人社会心理学研究	○	

学生氏名	鶴田 智	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
発表 (その他)	法的制裁と社会的制裁の補完性	鶴田智	201511	第 1 回公正研究会(日本心理学会研究集会)	—	

指導教員	佐藤 眞一	講座/研究分野	臨床死生学・老年行動学
------	-------	---------	-------------

学生氏名	大庭 輝	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	介護職員における認知症に関する知識の普及度とその関連要因	大庭輝・数井裕光・佐藤眞一	201511	高齢者のケアと行動科学 特別号 20, 135-150.	○
学術論文 (その他)	精神的健康と職場環境が介護職員の有能感に及ぼす影響	大庭輝・豊田麻実・佐藤眞一	印刷中	生老病死の行動科学 20	○
国内学会	介護職員の有能感に影響を与える要因	大庭輝・佐藤眞一	201509	日本心理学会第 79 回大会, 愛知	—
国内学会	これは使える！認知症臨床	大庭輝・藤田雄・蓮池沙緒里・星光子・宮裕昭・梨谷竜也	201509	第 34 回日本心理臨床学会 自主シンポジウム企画・司会, 兵庫	—
国内学会	研修参加による介護職員の有能感の変化	大庭輝・佐藤眞一	201510	日本老年行動科学会第 18 回大会, 宮城	—
国内学会	人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究 (3)	大庭輝・石井千恵・茅沼弓子・谷口優	201511	第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎	—
国内学会	高齢女性の気分プロフィールと記憶する幼少期の運動有能感	小島光洋・井原一成・大庭輝・吉田英世	201503	日本発育発達学会第 13 回大会, 東京	—
国内学会	人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究 (1)	石井千恵・茅沼弓子・芝崎美幸・辻田那月・大庭輝・谷口優	201511	第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎	—
国内学会	人型ロボットを用いた運動プログラムの開発と効果に関する研究 (2)	茅沼弓子・石井千恵・辻田那月・芝崎美幸・大庭輝・谷口優	201511	第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎	—
国内学会	医学系学術誌におけるケースレポートの収載数の調査	井原一成・長谷川千絵・大庭輝・小島光洋	201511	第 80 回日本民族衛生学会総会, 青森	—
国際会議 (proc.あり)	Knowledge and assessment skills of depressive symptoms among the staff of community integrated support centers.	Oba H.,Yoshida H., Suzuki Y., Suzuki Y., Ishijima H., Kitabatake Y., & Ihara K.	201510	The 15th Congress of International Federation for Psychiatric Epidemiology, Norway	○
国際会議 (proc.あり)	Association between competence and emotional strain in care workers	Oba H., & Sato S.	201510	The 10th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress, Thailand	○
発表 (その他)	認知症介護のこれから—心理学からの提案—	大庭輝	201509	認知症横断プロジェクト第 2 回談話会 話題提供, 大阪大学	—
その他	3 ステップで理解する 認知症 相談・対応のポイント	佐藤眞一・大庭輝・新田慈子	201503	大阪府	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	大庭輝	国立大学機能強化分 RA	大阪大学

学生氏名	豊島 彩	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (その他)	孤独感のエイジングパラドクスと社会関係の変化への適応に関する考察	豊島 彩	201603	生老病死の行動科学	○	
国内学会	高齢者研究—生涯発達心理学への回帰—	豊島 彩・佐藤眞一・野内 類・川島大輔・高野裕治・安藤孝敏	201509	日本心理学会	—	
国際会議 (proc.あり)	The Influence of Personality on Retirement Evaluation, Social Resources, and Loneliness in Later Life	Tovoshima, A., Lee, K., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.	201507	Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting	—	
国際会議 (proc.あり)	The Influence of Vision Function and Social Support on Well-Being among Oldest-Old Adults: Findings from the Georgia Centenarian Study.	Tovoshima, A., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.	201511	Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting	○	

国際会議 (proc.なし)	The impact of visual function on subjective well-being among centenarians.	Tovoshima, A., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.	201507	International Consortium of Centenarian	—
発表 (その他)	盲老人福祉施設の利用者を対象とした施設生活への適応過程の検討	豊島 彩	201506	2015 年度老年学系若手合同研究会にて発表	—
報告書(大学/研究所等)	高齢視覚障害者の孤独とその適応過程—理論モデルの構築と心理的支援の提案—	豊島 彩・佐藤眞一	201601	2013 年度ユニバーサル財団研究助成報告書	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	豊島 彩	平成 27 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	松井 智子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	A review of posttraumatic growth and help-seeking behavior in cancer survivors: Effects of distal and proximate culture	Matsui, T. & Taku, K.	201601	Japanese Psychological Research	○
国内学会	社会に活かす健康心理学 (シンポジウムタイトル)	松井智子(指定討論)	201509	第 28 回日本健康心理学会	○
国内学会	外来がん患者の心理的サポートサービスに対する援助要請行動のプロセスを構成する要因とバリア	松井智子・木下寛也	201509	第 28 回日本サイコオンコロジー学会	○
国内学会	乳がん患者における心理社会的サポートサービスの利用の実態	松井智子・谷向仁	201509	第 28 回日本サイコオンコロジー学会	○
国内学会	大学生の心理的サポートサービスに対する援助要請行動-どのような場合に心理的サポートサービスが必要であると考えているのか?-	松井智子	201509	第 79 回日本心理学会	—
国際会議 (proc.なし)	The use of psychosocial support services among breast cancer patients	Matsui, T. & Tanimukai, H.	201508	17th World Congress of Psycho-Oncology	○
国際会議 (proc.なし)	Associations of the future intention of using psychosocial support services with concerns and psychological distress among breast cancer patients	Matsui, T. & Tanimukai, H.	201508	18th World Congress of Psycho-Oncology	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201506	松井智子	平成 27 年度 科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	春日 彩花	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	プリコンセプションから科学的概念への変容過程	春日 彩花・土田 宣明	印刷中	教育心理学研究	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201508	春日 彩花	研究留学助成金	大阪大学未来基金グローバル化推進事業

学生氏名	久保田 彩	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.あり)	Perceived Efficacy in End-of-Life Care Provision among Japanese Long-Term Care Staff,	Sayaka, K. Shinichi, S.	201511	The Gerontological Society of America's 68th Annual Scientific Meeting, p195(No.2385)	○
報告書(大学/研究所等)	平成 26・27 年度 春日丘荘・春日丘荘『彩の家』看取りケアプロジェクト 中間報告書—看取りケアの評価に関する調査結果—	春日丘荘・春日丘荘『彩の家』看取りケアプロジェクト 中間報告書—看取りケアの評価に関する調査結果—	201603	平成 26・27 年度 春日丘荘・春日丘荘『彩の家』看取りケアプロジェクト 中間報告書—看取りケアの評価に関する調査結果—	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	久保田 彩	平成 27 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	小園 麻里菜	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	余暇活動と認知機能との関連—地域在住高齢者を対象として—	小園麻里菜・権藤恭之・小川まどか・石岡良子・増井幸恵・中川威・田渕恵・立平起子・池邊一典・神出計・新井康通・石崎達郎・高橋龍太郎	印刷中	老年社会科学	○

国内学会	要介護度・日常生活自立度からみた 100 歳以上調査参加者の代表性の検討—SONIC100 歳非都市部データを用いた検討—	増井幸恵, 榎藤恭之, 中川威, 小園麻里菜, 石岡良子, 稲垣宏樹, 池邊一典, 神出計, 新井康通, 石崎達郎, 高橋龍太郎	201506	日本老年社会学会第 57 回大会	—
国内学会	高齢期の余暇活動と認知機能との関連	小園麻里菜	201506	日本老年社会学会第 57 回大会老年学系若手合同研究会	—
国内学会	地域在住高齢者における老年的超越の縦断的变化の検討—SONIC データを用いた前期・後期高齢者の 3 年間の縦断変化	増井幸恵, 中川威, 榎藤恭之, 小川まどか, 石岡良子, 小園麻里菜, 田淵恵, 高山緑, 片桐恵子, 稲垣宏樹	201509	日本心理学会第 79 回大会	—
国内学会	地域在住高齢者における MoCA-J の 3 年間の変化に関する報告—SONIC Study70 歳コホート, 80 歳コホート追跡調査の結果から	稲垣宏樹, 榎藤恭之, 増井幸恵, 石岡良子, 中川威, 小園麻里菜, 小川まどか, 高橋龍太郎	201509	日本心理学会第 79 回大会	—
国内学会	中高年期における職業性ストレスと高齢期の認知機能の関連	石岡良子, 榎藤恭之, 増井幸恵, 稲垣宏樹, 中川威, 小川まどか, 小園麻里菜, 高橋龍太郎	201509	日本心理学会第 79 回大会	—
国内学会	高齢期における感情の個人内変動	中川威, 小園麻里菜, 榎藤恭之	201509	日本心理学会第 79 回大会	—
国際会議 (proc. あり)	Generational Exchange in Aging Society: Learning about the Meaning of Aging from Centenarian Parents	Yasumoto S, Gondo Y, Nakagawa T, and Kozono M	201511	The Annual meeting of The Gerontological Society of America	○
国際会議 (proc. あり)	The Relationship Between Leisure Activities and Cognitive Functions among Japanese Centenarians-Findings from Tottori Centenarian Study-	Kozono M, Gondo Y, Ishioka Y	201601	The Annual meeting of Swiss Society of Gerontology	○
国際会議 (proc. なし)	The Relationship between Leisure Activities and Cognitive Function in Japanese Centenarians who live in Rural Areas	Kozono M, Gondo Y, Ishioka Y, Nakagawa T	201506	International Centenarian Consortium meeting	—
国際会議 (proc. なし)	Association between Work Experience and Cognitive Function in Advanced Age	Ishioka Y, Gondo Y, Kozono M, Nakagawa T	201506	International Centenarian Consortium meeting	—
国際会議 (proc. なし)	Personality Characteristics and Activities of Daily Living among Japanese Centenarians	Nakagawa T, Gondo Y, Ishioka Y, Kozono M	201506	International Centenarian Consortium meeting	—
国際会議 (proc. なし)	Validation of the exceptional longevity case of a 117 year old woman in Japan	Kozono M, Gondo Y, Saito Y, Hirose N	201509	11th Supercentenarian Workshop	—
発表 (その他)	The relationships between leisure activities and cognitive function in Japanese Centenarians-Findings from Tottori Centenarian Study-	Kozono M, Gondo Y, Ishioka Y	201503	The Japanese-Swiss Healthy Aging Workshop	—
報告書(大学/研究所等)	超高齢者生活実態調査-鳥取県鳥取市-報告書	小園麻里菜・榎藤恭之・石岡良子	201503	鳥取市役所	—
報告書(大学/研究所等)	超高齢者生活実態調査-鳥取県鳥取市-市民啓発用リーフレット	小園麻里菜・榎藤恭之・石岡良子	201503	鳥取市役所	—
報告書(大学/研究所等)	超高齢者生活実態調査-京都府京丹後市-報告書	小園麻里菜・榎藤恭之・石岡良子	201509	京丹後市役所	—
その他	百寿者調査の結果 百歳健康長寿の秘けつ集	小園麻里菜・榎藤恭之・石岡良子	201511	京丹後市役所	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201507	小園麻里菜	日本心理学会トラベルアワード	日本心理学会

学生氏名	後藤 扶美香	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	SD 法による大学生の「老人」イメージと同義単語の評定調査	後藤扶美香	201509	日本心理学会第 79 回大会	—
学生氏名	新田 慈子	学年	MC1		

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201503	佐藤眞一, 大庭輝, 新田慈子	3 ステップで理解する認知症 相談・対応のポイント	大阪府発行 リーフレット

指導教員	臼井 伸之介	講座/研究分野	安全行動学
------	--------	---------	-------

学生氏名	太刀掛 俊之	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Decline in Risk Perception When Using Chemicals as Tools - Suggestions for Laboratory Safety	Toshiyuki Tachikake, Hideki Momose, Kengo Tomita, Ikuya Shibata, Hitoshi Yamamoto, Shinnosuke Usui	印刷中	Journal of Environment and Safety	○
国内学会	安全教育の実施はヒヤリ・ハット事例の報告数を増やすのか? -大学生を対象にした調査から-	太刀掛 俊之	201508	日本応用心理学会	—
国内学会	大学ボランティアセンターの設置が震災後の学生ボランティアに与える影響	大門 大朗, 太刀掛 俊之	201511	大学教育学会	—

学生氏名	岡 真裕美	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	救急搬送データにおける6歳から12歳児童の事故の分析(2)	岡真裕美・安達悠子・中井宏・臼井伸之介	201506	平成27年度日本人間工学会第56回大会	—
国内学会	児童の自主性を生かした安全教育効果ー校外版「ひなどり」の実践ー	岡真裕美・森泉慎吾・太子のぞみ・中井宏・安達悠子・臼井伸之介	201512	平成27年度日本人間工学会関西支部大会	—

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201509	岡 真裕美	宿泊学習事前学習「怪我をしないためには」講演	堺市立日置荘小学校5年生対象
201511	岡 真裕美	「子どもの事故防止」講演	堺市立新湊小学校5年生保護者対象
201603	岡 真裕美	「効果的な安全教育」講演(3月5日実施予定)	茨木市青少年健全育成運動協議会会長連絡会議

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201512	岡 真裕美	平成27年度日本人間工学会関西支部大会優秀発表賞	日本人間工学会関西支部

学生氏名	五十嵐 彩那	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	速度違反抑制に効果的なメッセージと提示タイミング	五十嵐彩那・臼井伸之介	印刷中	交通科学, 46(1)	○
国内学会	速度違反抑制のためのメッセージ表現と提示タイミングに関する研究	五十嵐彩那・臼井伸之介	201509	日本応用心理学会第82回大会(東京未来大学)	—
国内学会	違反抑制に向けたメッセージ表現と提示タイミングの研究	五十嵐彩那・臼井伸之介	201509	日本心理学会第79回大会(名古屋国際会議場)	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201512	五十嵐彩那	一般社団法人交通科学研究会 研究助成金	一般社団法人 交通科学研究会

学生氏名	菊池 勇哉	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	大学生-看護師間での医療行為に伴うリスクのイメージに対する質的検討	安達悠子, 菊池勇哉	201512	平成27年度 日本人間工学会関西支部大会	—

指導教員	金澤 忠博	講座/研究分野	比較発達心理学
------	-------	---------	---------

学生氏名	井崎 基博	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Gaze Fixation and Receptive Prosody among Very-Low-Birth Weight Children.	Isaki, M., Kanazawa, T., Hinobayashi, T & Kamada, J.	201504	International Journal of Psychology and Behavioral Sciences, 5 (2), 62-70	○
学術論文 (学会誌)	極低出生体重児の読み能力とその特徴	井崎基博・金澤忠博・日野林俊彦	201508	コミュニケーション障害学, 32(2), 109-115.	○
国内学会	超低出生体重児の学齢期における心理・行動その69. 注意の特徴	井崎基博・金澤忠博・鎌田次郎・日野林俊彦・北島博之	201509	日本心理学会第79回大会(名古屋国際会議場)	—

国内学会	超低出生体重児の学齢期における心理・行動その 70. 持続処理課題 (CPT) による不注意の評価	金澤忠博・井崎基博・鎌田次郎・安田純・日野林俊彦・北島博之	201509	日本心理学会第 79 回大会 (名古屋国際会議場)	—
国際会議 (proc.なし)	Eye movements during dyadic interactions among very low birth weight children.	Isaki, M., Kanazawa, T., Kamada, J., Hinobayashi, T., & Kitajima, H.	201509	17th European Conference on Developmental Psychology. (Minho University)	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	井崎 基博	平成 27 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	日本学術振興会

学生氏名	永井 祐也	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	ムコ多糖症のある幼児児童生徒への教育的支援に関する保護者の認識	永井祐也・武田鉄郎	印刷中	特殊教育学研究	○	
国内学会	復学における小児がんに罹患した児童生徒とその保護者の困難さ—文献検討を通して—	永井祐也・川内絵莉子・岡本光代	201508	日本育療学会第 19 回学術集会	—	
国内学会	自閉スペクトラム症児の他者の共同注意に反応する能力の測定—アイトラッカーによる視線行動の測定と保護者の評定との関連—	永井祐也・金澤忠博・日野林俊彦	201509	日本特殊教育学会第 53 回大会	—	
国内学会	特別支援学校 (病弱) に在籍する生徒の情緒・行動特性と不適応行動の関連に関する検討	川内絵莉子・永井祐也・竹田一則	201509	日本特殊教育学会第 53 回大会	—	
国内学会	自閉スペクトラム症児の母親へのアタッチメント—集団療育場面における行動との関連—	前田早紀・金澤忠博・永井祐也・日野林俊彦	201509	日本心理学会第 79 回大会	—	
国内学会	PECS を含めた個別療育における自閉スペクトラム症児の変容—要求行動と共同注意行動に着目して—	永井祐也・金澤忠博・前田早紀・日野林俊彦	201509	日本心理学会第 79 回大会	—	
国際会議 (proc.なし)	Effect of PECS training on early social communication in preschool children with autism spectrum disorders	Nagai, Y., Kanazawa, T., & Hinobayashi, T.	201509	17th European Conference on Developmental Psychology	—	
発表 (その他)	ムコ多糖症のある幼児児童生徒の保護者が認識した教育的支援と満足の評価	永井祐也	201601	つくば小児病虚弱研究セミナー第 1 回研究会 (話題提供)	—	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	永井 祐也	平成 27 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	前田 早紀	学年	MC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	自閉スペクトラム症児の母親へのアタッチメント	前田早紀・金澤忠博・永井祐也・日野林忠博	201509	日本心理学会	—	

指導教員	志村 剛	講座/研究分野	行動生理学
------	------	---------	-------

学生氏名	山口 恵里菜	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	甘味溶液の過剰摂取を行うマウスにおけるリック行動の変化:ペプチド YY 末梢投与が与える影響	山口恵里菜・八十島安伸・志村剛	201512	日本味と匂学会誌, 22 巻, 3 号, 301-304.	○	
国内学会	甘味溶液の過剰摂取を行うマウスにおけるリック行動の変化:ペプチド YY 末梢投与が与える影響	山口恵里菜・八十島安伸・志村剛	201509	第 49 回日本味と匂学会大会 (岐阜)	—	
国内学会	マウスの過剰摂取行動の時間構造の変化: ペプチド YY と嗜好性に基づく摂取動機づけ	山口恵里菜・八十島安伸・志村剛	201603	第 93 回日本生理学会大会 (札幌)	—	
国際会議 (proc.なし)	Postprandial feeding cessation system mediated by peptide YY is blunted in mice showing binge-like overconsumption	Yamaguchi Erina・Yasoshima Yasunobu・Shimura Tsuyoshi	201505	International Symposium on Neuroscience in Orofacial sensory-motor functions 2015, (Osaka)	—	

学生氏名	須永 佑	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	中脳吻側内側被蓋核は味覚嫌悪学習の消去に関与する	須永佑・乾賢・志村剛	201512	日本味と匂学会誌, 22, 3, 297-300	○	
国内学会	中脳吻側内側被蓋核は味覚嫌悪学習の消去に関与する	須永佑・乾賢・志村剛	201509	日本味と匂学会第 49 回大会	—	

学生氏名	西岡 春奈	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	慢性的なショ糖の摂取過多を経験したマウスは、ショ糖に対する嗜好性が高い状態を維持する	西岡 春奈、八十島 安伸、志村 剛	201512	日本味と匂学会誌, 第 22 巻 3 号, pp.309-312	○	
国内学会	慢性的なショ糖の摂取過多を経験したマウスは、ショ糖に対する嗜好性が高い状態を維持する	西岡 春奈、八十島 安伸、志村 剛	201509	日本味と匂学会第 49 回大会	—	
国内学会	Blunted glucose elevation sustains high palatability of sucrose in mice with intermittent access to sucrose	Haruna Nishioka, Yasunobu Yasoshima, Tsuyoshi Shimura	201603	第 93 回日本生理学会大会	—	

学生氏名	米倉 野超	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	扁桃体の一時的不活性化による味覚性新奇恐怖の減弱	米倉 野超・乾 賢・ 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22 巻 3 号 pp.305-308.	○	
国内学会	扁桃体の一時的不活性化による味覚性新奇恐怖の減弱	米倉 野超・乾 賢・ 志村 剛	201509	日本味と匂学会第 49 回大会	—	

指導教員	足立 浩平	講座/研究分野	行動統計科学
------	-------	---------	--------

学生氏名	池本 大樹	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	Sparse Tucker2 analysis of three-way data subject to a constrained number of zero elements in a core array	Hiroki Ikemoto, and Kohei Adachi	印刷中	Computational Statistics & Data Analysis	○	
国内学会	Lasso によるスパース三相主成分分析	池本大樹	201509	日本行動計量学会 第 43 回大会	—	
国内学会	A direct approach to exploratory bi-factor analysis	池本大樹	201511	日本計算機統計学会 第 29 回シンポジウム	—	
国際会議 (proc.なし)	Sparse core Tucker2 for computationally identifying the optimal model between parafac and Tucker2	Hiroki Ikemoto, and Kohei Adachi	201507	International Meeting of the Psychometric Society 2015	—	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201507	池本大樹	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科

学生氏名	宇野 光平	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	Fixed factor analysis with clustered factor score constraint	Uno K., Satomura H., Adachi K.	201602	Computational Statistics and Data Analysis, 94, 265-274	○	
国内学会	行列モデル因子分析における因子得点の不定性の解消と因子得点のクラスター化	宇野光平・足立浩平	201503	日本分類学会第 33 回大会	—	
国内学会	因子得点のクラスターリングを伴う母数モデルの因子分析	宇野光平・足立浩平	201503	第 9 回日本統計学会春季集会	—	
国内学会	制約付き因子得点による個体の判別	宇野光平・足立浩平	201505	日本計算機統計学会第 29 回大会	—	
国内学会	行列モデル因子分析における因子得点の計算	宇野光平・足立浩平	201509	日本行動計量学会第 43 回大会	—	
国内学会	部分空間クラスターリングにおけるクラスター数の自動決定	宇野光平	201509	2015 年度統計関連学会連合大会	—	
国際会議 (proc.なし)	Clustered Factor Score Identification in Matrix-factorization Factor Analysis	Uno K., Adachi K.	201507	the 80th Annual Meeting of the Psychometric Society	—	
国際会議 (proc.なし)	Unit-length vector biplot with fuzzy clustering of observations and variables	Uno K.	201510	2015 International Workshop for JSCS 30th Anniversary in Okinawa	—	
国際会議 (proc.なし)	Three-way principal component analysis for obtaining perfectly simple loadings	Uno K.	201512	The 8th International Conference of the ERCIM WG	—	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201507	Uno K.	Travel Award	Psychometric Society

学生氏名	中村 裕子	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	質的データに対する非計量三相主成分分析法	中村裕子	201509	行動計量学, 第 42 巻第 2 号, 105-116	○	

指導教員	中道 正之	講座/研究分野	比較行動学
------	-------	---------	-------

学生氏名	勝 野吏子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Function of grunts, girneys and coo calls of Japanese macaques (<i>Macaca fuscata</i>) in relation to call usage, age and dominance relationships	Katsu N, Yamada K, and Nakamichi M	201602	Behaviour, 153, 2, 125-142	○
国内学会	嵐山集団のニホンザルにおける敵対的交渉後の親和的交渉に伴う音声の機能	勝 野吏子, 山田一憲, 中道正之	201507	第 31 回日本霊長類学会 (京都大学)	—
国内学会	Influence of uncertainty on vocal usage in post-conflict situations of Japanese macaques.	Katsu N, Yamada K, and Nakamichi M	201509	第 75 回日本動物心理学会 (日本女子大学)	—
国際会議 (proc.なし)	Factors affecting the use of the vocalizations in post-conflict affiliative interactions in Japanese macaques.	Katsu N, Yamada K, and Nakamichi M	201504	Tokyo Lectures in Language Evolution (東京大学)	○
国際会議 (proc.なし)	Anxiety reduction by vocalization in post-conflict affiliative interactions in a free-ranging group of Japanese macaques.	Katsu N, Yamada K, and Nakamichi M	201508	Behaviour 2015 (Cairns, Australia)	○
発表 (その他)	Rhythmical turn-taking and bonding in nonhuman animals.	Katsu N	201512	Time and Awareness: a symposium and a workshop (東京大学)	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	勝 野吏子	平成 27 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	大井 裕典	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	動物園のワオキツネザル集団における子の誕生が集団の社会構造に与える影響の検討	大井 裕典・山田 一憲・中道 正之	201507	第 31 回日本霊長類学会大会	—
報告書(大学/研究所等)	動物園のワオキツネザル集団における子への関わりかけが集団の社会構造に与える影響の検討	大井 裕典	201509	2014 年度京都大学野生動物研究センター年報	—

学生氏名	土井 穂波	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	京都市動物園を訪れる来園者にとってのふれあいグラウンドの役割	土井穂波、山田一憲、田中正之、和田晴太郎、中道正之	201603	ヒトと動物の関係学会	—
その他	京都市動物園を訪れる来園者にとってふれあいグラウンドはどのような役割を果たしているのか	土井穂波、山田一憲、田中正之、和田晴太郎、中道正之	201603	動物園大学「ず〜だなも。」	—

学生氏名	貝ヶ石 優	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	淡路島ニホンザル集団における協力行動実験	貝ヶ石優・中道正之・山田一憲	201507	第 31 回日本霊長類学会大会	—
国内学会	Cooperative problem solving by Japanese macaques in the Awajishima group	Yu Kaigaishi, Masayuki Nakamichi & Kazunori Yamada	201509	日本動物心理学会第 75 回大会	—
国内学会	野生ニホンザル集団における協力行動実験：集団間の寛容性の違いが協力行動に及ぼす影響	貝ヶ石優・中道正之・山田一憲	201512	日本人間行動進化学会第 8 回大会	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201509	貝ヶ石 優	優秀発表奨励賞	日本動物心理学会
201512	貝ヶ石 優	若手奨励賞 (口頭発表)	日本人間行動進化学会

2-2-3. 社会学系

社会学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	※在籍者には休学者を含む
	70 名	67 名	95.7 %	31 名	44.3 %	

指導教員	友枝 敏雄	講座/研究分野	理論社会学
------	-------	---------	-------

学生氏名	川本 悟士	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	組織における信頼概念の位置づけについて—信頼と協働の関係—	川本悟士	201505	第 66 回関西社会学会(立命館大学)	—	

学生氏名	田中 隆介	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	国家論から見たナショナリズム論	田中隆介	201505	第 66 回関西社会学会(立命館大学)	—	

指導教員	稲場 圭信	講座/研究分野	現代社会学
------	-------	---------	-------

学生氏名	大久保 将貴	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
研究ノート	因果推論の理論と分析手法	大久保 将貴	印刷中	年報人間科学	—	
国内学会	統計的因果推論と計量社会学：因果効果は社会を記述するか	大久保 将貴	201505	関西社会学会	—	
国内学会	福祉系資格保有が介護労働者の賃金に与える因果効果	大久保 将貴	201506	福祉社会学会	—	
国内学会	医療・介護サービスの提供体制は死亡場所を規定するか	大久保 将貴	201603	数理社会学会	—	
発表 (その他)	Institutional Isomorphism in Japanese Long-Term Care Insurance Premium: DiD/IV Analysis	OKUBO, Shoki	201507	Research Design for Causal Inference at Northwestern University	—	
報告書(大学/ 研究所等)	主観的健康観と社会意識	大久保 将貴	印刷中	SSP プロジェクト報告書	—	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201505	大久保将貴	関西社会学会大会奨励賞	関西社会学会

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	大久保将貴	平成 27 年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	日本学術振興会

学生氏名	沈 一撃	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
研究ノート	中国社会における宗教参加による社会貢献意欲への影響——日中比較を用いて	沈一撃	201510	宗教と社会貢献	—	

指導教員	川端 亮	講座/研究分野	経験社会学
------	------	---------	-------

学生氏名	狭間 諒多朗	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	若年親同居未婚者における階層帰属意識の規定要因	狭間諒多朗	201509	第 88 回日本社会学会	—	
発表 (その他)	現在志向の時点間比較——若年層に注目して	狭間諒多朗	201512	SSP プロジェクト拡大幹事会	—	
発表 (その他)	若年層における現在志向の時点間比較	狭間諒多朗	201603	第 1 回 SSP 調査公開報告会	—	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	狭間諒多朗	平成 27 年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	平松 誠	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
著書	高校生の非正規雇用リスク認知	平松誠・久保田裕之	201504	友枝敏雄編『リスク社会を生きる若者たち：高校生の意識調査から』	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201508	平松誠	公益財団小野奨学会奨学金	公益財団小野奨学会

学生氏名	阪口 侑洋	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
報告書(大学/研究所等)	階層認知が近隣住民観に与える影響(仮)	阪口侑洋	201603	第一回 SSP 調査報告書(仮)	—

学生氏名	松本 雄大	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(その他)	日本人は豊かになったのか—「物」と「心」の豊かさのコーホート分析	松本雄大	201508	関西計量社会学研究会 第 47 回定例研究会	—
国内学会	権威主義的態度の APC 分析—2015 年 SSP 調査データによる分析 (1)	松本雄大	201603	第 61 回数理社会学会	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201509	松本雄大	大学院学生研究集会開催支援金	大阪大学大学院人間科学研究科 教育改革推進室

指導教員	吉川 徹	講座/研究分野	社会データ科学
------	------	---------	---------

学生氏名	谷岡 謙	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(その他)	2015 年における階層帰属意識	谷岡謙	201512	SSP プロジェクト 拡大幹事会	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	谷岡謙	特別研究員奨励費	日本学術振興会

学生氏名	橋爪 裕人	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	脱埋め込みと主観的 Well-Being 規定要因の違い-集団へのコミットメントの違いから考える-	橋爪裕人	201509	第 88 回日本社会学会	○
発表(その他)	主観的 Well-Being を高めるためには何が必要か-労働・家族関係・健康・ネットワークの変化に注目して-	橋爪裕人	201506	東大社会科学研究所課題公募型二次分析研究会第 1 回研究会	—
発表(その他)	主観的 Well-Being の向上には何が必要か—職業・婚姻・健康・所得に注目して—	橋爪裕人	201510	東大社会科学研究所課題公募型二次分析研究会第 2 回研究会	—
発表(その他)	働き方と Well-Being の変容--1995 年 SSM との比較を通じて	橋爪裕人	201512	階層と社会意識研究プロジェクト(SSP プロジェクト)拡大幹事会	—
発表(その他)	非正規・無職の主観的 Well-Being-社会的孤立と失業リスクの観点から-(予定)	橋爪裕人	201603	東大社会科学研究所課題公募型二次分析研究会成果報告会	—
報告書(大学/研究所等)	働き方と主観的 Well-Being の変容(予定)	橋爪裕人	印刷中	第 1 回 SSP 調査報告書	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	橋爪裕人	日本学術振興会特別研究員 DC2	日本学術振興会

学生氏名	北田 淳子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	再稼働への賛否と原子力発電についての認識— 2014 年の INSS 継続調査から	北田淳子	201510	INSS JOURNAL, Vol.22, 27-46.	—
国内学会	継続調査による原子力発電に対する世論の測定(10)–2014 年 10 月の調査結果—	北田淳子	201509	日本原子力学会 2015 年秋の大会, M3(CD)	—

学生氏名	SHIN JAE YOUL	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	Work ethic, ideology, subjectived well being and preferences for income redistribution	申在烈	201509	日本社会学会	○
国際会議 (proc.あり)	소득 재분배 선호 결정요인에 관한 연구 (所得再分配選好の決定要因に関する研究)	申在烈	201510	韓国産業社会学会	○
解説・総説	社会学会学会 (大会報告)	申在烈	201603	日本世論調査協会報	—
国内学会	リスク経験が所得再分配選好に及ぼす影響	申在烈	201603	第 61 回数理社会学会	○
発表 (その他)	Preferences for income redistribution	申在烈	201601	(科研) アジア諸社会における人口変動と移動レジームの比較分析	—
発表 (その他)	Effect of Labour market positioning on Preferences for redistribution	申在烈	201603	SSP	—
報告書(大学/研究所等)	日本人の格差意識構造の変容—格差脱出は誰の夢なのか	申在烈	201603	SSP	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201510	申在烈	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学大学院人間科学研究科教育改革推進室

学生氏名	中村 将大	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	学生経験調査を利用した大学生の能力に関わる分析—企業が重視する能力と大学生の主観的な能力評価の比較—	和嶋雄一郎、 <u>中村将大</u> 、齊藤貴浩	201505	日本評価学会春季第 12 回全国大会 (特定非営利活動法人日本評価学会)	—
国内学会	学生経験調査を利用した大学生の能力に関わる分析—企業が重視する能力と大学生の主観的な能力評価の比較—	和嶋雄一郎、 <u>中村将大</u> 、齊藤貴浩	201509	第 79 回日本心理学会 (名古屋大学)	—
国内学会	SERU (学生経験調査) にもとづく学生の能力の主観評価とそれに影響を与える要因についての考察—第 2 回 Student Experience in the Research University の調査結果から—	齊藤貴浩、和嶋雄一郎、廣森聡仁、安部有紀子、宮錦三樹、藤井翔太、 <u>中村将大</u> 、前原忠信	201509	第 31 回日本教育工学会 (電気通信大学)	—
国内学会	企業調査・入学時調査・卒業時調査を利用した大学生の能力に関する分析—企業が重視する能力と大学生の主観的な能力評価とのギャップ—	岡嶋裕子、和嶋雄一郎、 <u>中村将大</u> 、齊藤貴浩	201512	第 16 回日本評価学会 (日本評価学会第 16 回全国大会実行委員会)	—
報告書(大学/研究所等)	学校外教育の利用および費用の規定要因と教育達成—地域による差異に着目して	中村将大	201601	『2014 年度課題公募型二次分析研究会 高校生の進路意識と家庭における子への教育の関与について 成果報告書』東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター、18-33	—

指導教員	牟田 和恵	講座/研究分野	コミュニケーション社会学
------	-------	---------	--------------

学生氏名	HONG JUNG EUN	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	「女性同盟」とオモニ・アイデンティティー—1960 年代在日朝鮮人の民族運動における女性たちの遂行性を中心に	洪ジョンウン	201506	フォーラム現代社会学 (関西社会学会)	○
研究ノート	韓国の兵役法における社会的公平性の問題と在外韓国人男性	洪ジョンウン	201506	コリアン・スタディーズ (国際高麗学会日本支部)	○
著書	Rethinking Representations of Asian Women: Changes, Continuity, and Everyday Life	Hong, Jung-Eun & Turmunkh Odontuya, Noriko Ijichi, Erina Seto-Suh, Dukin Lim, Masako Kudo, Ryoko Sakurada, Atsufumi Kato, Grace Cheng-Ying Lin, Kanako Nakagawa	201511	London: Palgrave Macmillan	—
国際会議 (proc.あり)	朝鮮学校のオモニ会から見る在日朝鮮人女性主体の変化	HONG, Jung-eun	201511	韓国女性学会第 31 次秋季学術大会 (韓国女性学会)	—
発表 (その他)	在日朝鮮人女性による民族運動と夜間中学	洪ジョンウン	201506	複合差別研究会	—
報告書(大学/研究所等)	「解放」70 年—未来世代のための在日コリアン歴史プロジェクト報告集	在日コリアン青年連合	201601	韓国学中央研究院(韓国)	—

学生氏名	元橋 利恵	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	「これ！ も！ 女の！ 運動！」	元橋利恵	201509	dumb type『S/N』×ガールズアクティビズム シンポジウム 主催：同志社大学フェミニスト・ジェンダー・セクシュアリティ研究センター (F.G.S.S.) S/N × ガールズ・アクティビズム実行委員会	—
発表 (その他)	怒りたい女子会活動報告	元橋利恵	201602	科研費基盤(B)「ジェンダー平等社会の実現に資する研究と運動の架橋とネットワーク」(代表:大阪大学 牟田和恵) 主催：同志社大学フェミニスト・ジェンダー・セクシュアリティ研究センター共催シンポジウム「出会う、つながる、フェミニズム」	—

学生氏名	元山 琴菜	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Experiences of Coming Out in Japan: Negotiating "Perceived Homophobia"	Kotona Motoyama	201512	Asia-Pacific Social Science Review	○

学生氏名	尾崎 俊也	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	男性性と性暴力メッサーシュミットの行為理論を起点にしてー	尾崎俊也	201505	関西社会学会第 66 回大会 (立命館大学)	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	尾崎俊也	大阪大学未来共生イノベーション博士課程プログラム奨励金	大阪大学未来戦略機構
201507	尾崎俊也	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム 独創的教育研究活動経費	大阪大学未来戦略機構

学生氏名	村上 彩佳	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Virginie Julliard, "De la presse à Internet: la parité en questions",	村上彩佳	201504	年報人間科学	—
国内学会	フランスのバリテをめぐる 男女の「性差」の解釈 女性誌のレトリック分析を通じて	村上彩佳	201505	日本女性学会 2015 年度大会	—
国内学会	バリテ制定を契機とした 「政治的なものの再興」とフェミニズム——フランスの女性誌 Marie Claire と ELLE を事例として	村上彩佳	201505	第 66 回関西社会学会大会	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	村上彩佳	特別研究員奨励費	日本学術振興会

指導教員	辻 大介	講座/研究分野	コミュニケーション社会学
------	------	---------	--------------

学生氏名	UDRIS REINIS	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Cyberbullying in Japan: An Exploratory Study	Reinis Udris	201512	International Journal of Cyber Society and Education 8(2), 59-80	○

学生氏名	妹尾 麻美	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	就職活動を行う大学生が持つ、同時に活動する他者に対する認識	妹尾麻美	印刷中	年報人間科学	—
国内学会	現代若者文化の位相と地域性 (5) 若者の将来展望と将来不安	妹尾麻美	201509	日本社会学会	○
報告書(大学/研究所等)	将来展望と将来不安	妹尾麻美	印刷中	青少年研究会 2014 調査	—

指導教員	Robert Scott North	講座/研究分野	文化社会学
------	--------------------	---------	-------

学生氏名	SZCZYGIEL Marta Elzbieta	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.あり)	日本がトイレ大国になれたのはどうして？	Marta Szczygiel	201509	2015 Intellectual Exchange Programme between Japan and Europe in Alsace Japanese Study Seminar : Everyday Life and Culture	○
国際会議 (proc.なし)	Can Research on Toilets Assure an Academic Position? Doing Social Sciences in Japan	Marta Szczygiel	201512	European Research(ers') Day	○
国際会議 (proc.なし)	Can Research on Toilets Assure an Academic Position? Doing Social Sciences in Japan	Marta Szczygiel	201512	European Research(ers') Day	○

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201511	Marta Szczygiel	恥ずかしくて無視される問題。ーインドでの野外排泄の現状ー	公益財団法人 大学セミナーハウス HP
201506	Marta Szczygiel	「ポーランドを第二の日本に！」・・・しないほうがいいかもしれません	住友理工 学生小論文アワード HP

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201506	Marta Szczygiel	Sumitomo Rikō Student Essay Award, special jury prize	Sumitomo Rikō
201503	Marta Szczygiel	2015 NCTU Taiwan Elite Internship Program grantee	National Chiao Tung University,Taiwan
201509	Marta Szczygiel	2015 Intellectual Exchange Programme between Japan and Europe in Alsace; Japanese Study Seminar : Everyday Life and Culture grantee	The Japan Foundation and Centre Européen d'Etudes Japonaises d'Alsace
201511	Marta Szczygiel	留学生論文コンクール、銅賞	公益財団法人大学セミナーハウス

学生氏名	MACYOWSKY Kai Uwe	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	都市における若者の居場所と都市空間の活用ー日本とドイツを比較して	Kai Macyowsky	201505	都市大阪創生研究会（シニア研究会@都市魅力研究室）	—

指導教員	山中 浩司	講座/研究分野	文化社会学
------	-------	---------	-------

学生氏名	岩井 恵子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	山間の超限界集落におけるソーシャル・キャピタル	岩井恵子	201506	日本老年社会学会第 57 回大会	○
国内学会	高齢者 S P (Simulated Patient) の活動を支える要因	吉村牧子,岩井恵子	201506	日本老年看護学会第 20 回学術集会	○
国内学会	SP 参加型看護教育システムの構築ーSP 養成から SP を中心とした看護教育の実践ー	岩井恵子,石野レイ子,東香代子,吉村牧子他"	201512	第 35 回日本看護科学学会学術集会	○
著書	介護福祉士養成テキスト 医療的ケア	中川義基,川村佐和子,岩井恵子 他	著書	介護福祉士養成テキスト 医療的ケア	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201507	岩井 恵子	平成 27 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) (特設分野研究)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	KIRMIZI MERIC	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	Branding of Horie, Nishi Ward from the Viewpoint of Long-term Residents: A Case of Urban Change in Osaka City after the Collapse of the Economic Bubble	Meric Kirmizi	in press	Urban Scope (at the stage of making corrections after review)	○
書評	Rowena Murray (2015). <i>Writing in Social Spaces: A Social Processes Approach to Academic Writing</i> . London: Routledge.	Meric Kirmizi	201603	都市文化研究 18	○
発表 (その他)	Urban Redevelopment in Osaka: the More Gentrified, the Less Crafted?	Meric Kirmizi	201508	The Ideal City: between myth and reality, The RC21 Conference 2015	—
報告書(大学/研究所等)	地域生活者の語りにみる西区堀江	Meric Kirmizi (Trans. by Hiroshi Yamanaka)	201503	都市大阪の磁場ー変貌するまちの今を読み解くー	—

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201507	Meric Kirmizi	Observations from a Degentrifying Istanbul	http://theprotocity.com/
201508	Meric Kirmizi	Japonya'da kadın olmak	http://haber.sol.org.tr/

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201508	Meric Kirmizi	Financial Aid for the Participation in an International Conference by Graduate Students	Osaka University Graduate School of Human Sciences

学生氏名	諏訪 敏幸	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	内在的知識と外在的知識：知識の社会的存在形態について	諏訪敏幸	201503	情報化社会・メディア研究 11, 25-36, 2014	○	
学術論文 (その他)	Tocolysis for inhibiting preterm birth in extremely preterm birth, multiple gestations and in growth-restricted fetuses: a systematic review and meta-analysis.	Miyazaki C, Moreno RG, Ota E, <u>Swa T</u> , Oladapo OT, Mori R.	201601	Reprod Health. 2016 Jan 14;13(1):4	○	
学術論文 (その他)	Prophylactic antibiotics for manual removal of retained placenta during vaginal birth: a systematic review of observational studies and meta-analysis.	Chibueze EC, Parsons AJ, Ota E, <u>Swa T</u> , Oladapo OT, Mori R.	201511	BMC Pregnancy Childbirth. 2015 Nov 26;15:313.	○	
学術論文 (その他)	Effectiveness of inhalation of aromatherapy in reducing anxiety in patients before colonoscopy: a systematic review protocol.	Ueki S, Matsunaka E, <u>Swa T</u> , Ohashi K, Makimoto K.	201510	JBIM Database System Rev Implement Rep. 2015 Oct 14;13(9):40-50.	○	
学術論文 (その他)	"Antenatal corticosteroids for reducing adverse maternal and child outcomes	Amiya RM, Mlunde LB, Ota E, <u>Swa T</u> , Oladapo OT, Mori R.	印刷中	PLoS ONE	○	

学生氏名	野島 那津子	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	希少疾患と社会的困難——当事者への聞き取り調査から	山中浩司・野島那津子・樋口麻里	201505	第 41 回日本保健医療社会学会大会（首都大学東京）	○	
国内学会	「病気を受け入れない」で病むことを引き受ける——線維筋痛症患者の語りから	野島那津子	201509	第 88 回日本社会学会大会（早稲田大学）	○	
国内学会	誰が生物医学化を望んでいるのか？——contested illness におけるループ効果の三項分析に向けて	野島那津子	201510	科学社会学会第 4 回年次大会（東京大学）	○	
国際会議 (proc.なし)	Disease, Illness and Sickness: Three dimensions of illness experiences in the cases of rare disease patients	Yamanaka H., <u>Nojima N.</u>	201509	BSA Medical Sociology Annual Conference (York)	○	
発表 (その他)	線維筋痛症における患者・家族・社会が抱える問題——インタビュー調査から見てきたもの	野島那津子	201506	線維筋痛症講演会（名古屋）	—	
翻訳	脳の主体と神経多様性の問題	野島那津子	201504	現代思想 2015 年 5 月号 (F. Ortega, 2009, "The Cerebral Subject and the Challenge of Neurodiversity")	—	

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201505	野島 那津子	難病：話そうとすると声が出ない 分かりにくい障害、知って研究進める阪大の院生	毎日新聞

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	野島 那津子	平成 27 年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	梅川 由紀	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	「ごみ屋敷」の社会学——当事者はなぜごみを溜めるのか	梅川由紀	201509	第 88 回日本社会学会大会（早稲田大学）	—	

学生氏名	志水 洋人	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国際会議 (proc.なし)	A Quasi-systematic Issue-Analysis Method using MAXQDA: Reconstructing the Controversy around the Diagnostics and Pharmacotherapeutics of Depression in Japanese Psychiatric Journals	Shimizu, H.	201603	18th MAXQDA User Conference	○	
学術論文 (学会誌)	職域の「うつ」をめぐる解釈の競合——医師による「逸脱への意味づけ」と「原因帰属」——	志水洋人	印刷中	保健医療社会学論集、27 巻、1 号	○	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201503	Shimizu, H.	CONFERENCE FUNDING FOR PHD STUDENTS	Marburg Research Group for Methods & Evaluation

学生氏名	正井 佐知	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (その他)	沖縄島北部におけるオキナワヤモリの交尾の観察例	戸田守・小島光明・前田真希・ <u>正井佐知</u> ・坂田ゆず	201506	Akamata	○	
国内学会	障害者の参与はどのように構成されるか——オーケストラの合奏練習を事例として	正井佐知	201505	関西社会学会第 66 回大会	—	

学生氏名	MACOVER ITAY	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
解説・総説	Patricia Boling, The Politics of Work-Family Policies: Comparing Japan, France, Germany and the United States, Cambridge University Press, 2015 (Pp. 1-228)	Itay Macover	201602	年報人間科学 第 37 号	—	

指導教員	斉藤 弥生	講座/研究分野	福祉社会論
------	-------	---------	-------

学生氏名	佐藤 桃子	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (その他)	デンマークにおける課題を抱える家族と子どもへの支援—社会的養護と子育て支援の連続性に焦点を当てて—	佐藤桃子	201504	『季刊家計経済研究』第 106 号	○	
国内学会	社会的養護における親との協働—デンマークの事例より	佐藤桃子	201506	日本地域福祉学会第 29 回大会	—	
国際会議 (proc.あり)	Comparison of User Participation in Child Day-care Services between Japan and Denmark	Sato, Momoko	201506	5th EMES International Research Conference on Social Enterprise. Helsinki, Finland.	○	
著書	第 5 章 スウェーデンの子ども・子育て環境	吉岡洋子・ <u>佐藤桃子</u>	201601	『スウェーデン・モデル—グローバリゼーション・揺らぎ・挑戦』	—	
報告書(大学/研究所等)	各国の現状把握 デンマーク	佐藤桃子	201504	『平成 26 年度厚生労働省児童福祉問題調査研究事業課題 9 社会的養護制度の国際比較に関する研究調査報告書』	—	
その他	子ども家庭福祉分野における親支援について—デンマークの ATA プログラムにみる在宅支援の可能性—	佐藤桃子	201602	『子どもの虐待とネグレクト』第 17 巻 3 号(「資料」として掲載)	○	

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	佐藤桃子	平成 26 年度 科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

2-2-4. 人間学系

人間学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	56 名	44 名	78.6 %	30 名	53.6 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	中山 康雄	講座/研究分野	科学哲学
------	-------	---------	------

学生氏名	藤田 翔	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (その他)	一般相対性理論における時空論の実体説と関係説、そして構造实在論への展開	藤田翔	201603	年報人間科学 第37号	○	
国内学会	時空の実在性と現代物理学	藤田翔	201511	日本科学哲学学会第48回(2015年)大会	—	
発表 (その他)	現代物理学における時空の実在性	藤田翔	201509	科学基礎論夏のセミナー2015 北海道大学	—	
発表 (その他)	宇宙論、量子宇宙論の科学哲学としての時空論(予定)	藤田翔	201603	時空論セミナー 京都大学物理学第二教室天体核研究室	—	
その他	哲学者サイドからの時間論に関する物理学者への質問	藤田翔	201602	現代物理学における「今」という時 九州大学 細谷暁夫氏講演会の指定質問者としての参加	—	

学生氏名	加納 寛之	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
発表 (その他)	不確実の状況下での社会的意思決定の原理の構築に向けて—道徳哲学からの示唆—	加納 寛之	201507	哲学若手研究者フォーラム	—	
発表 (その他)	科学的証拠の証拠規則の整備に向けて—DNA 型証拠と足利裁判—	加納 寛之	201602	阪大・京大 STiPS 学生合同発表会（大学院副専攻プログラム「公共圏における科学技術政策」）	—	
発表 (その他)	The Concept of Uncertainty in Science: Considering from the viewpoint of risk analysis	Hiroyuki Kano	201603	Laboratory of Thinking 2016	—	

学生氏名	雪本 泰司	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (その他)	否定的真理の問題—truthmaker 理論における非全面主義への批判—	雪本泰司	201504	哲学の探究, 42, 190-209	—	
国内学会	存在するものの数はいくつなのか	雪本泰司	201507	関西大学哲学会 2015 年度春季大会(関西大学)	—	

指導教員	檜垣 立哉	講座/研究分野	現代思想
------	-------	---------	------

学生氏名	佐藤 伸郎	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (その他)	森敦の文学：境界論をめぐる考察	佐藤伸郎	201603	年報人間科学第 37 号	○	

学生氏名	藤高 和輝	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (その他)	ヘーゲルの主体のメランコリー：『欲望の主体』におけるバトラーのヘーゲル解釈とその展開	藤高和輝	201603	年報人間科学	○	
国内学会	脱自と引き受けの哲学に向けて：バトラーにおけるサルトル	藤高和輝	201511	社会思想史学会	○	
発表 (その他)	Assuming Paradoxies: Rethinking Identity and Vulnerability through Butler and Beauvoir	藤高和輝	201603	共同研究／国際シンポジウム「傷つきやすさと境界の現象学」	—	
その他	ヘーゲルのようにクィアする：バトラーはヘーゲリアンの哲学者かクィア理論家か？	藤高和輝	201504	YoRAP 公開討論会：「クィア・ネガティヴィティ再考」(依頼発表)	—	

学生氏名	森野 雄介	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	犬と絶対無——後期西田幾多郎における身体の問題	森野雄介	201503	年報人間科学 37 号	○
国内学会	西田幾多郎、三木清における形の問題	森野雄介	201503	実存思想協会	○
国際会議 (proc.あり)	The Concept of Katachi on the Later Philosophy of Kitaro Nishida	Yusuke Morino	201512	European Network of Japanese Philosophy	○
国際会議 (proc.あり)	Doxa and Subjectivity : On Self-awareness and its Determination of Nothingness of Kitarô Nishida	Yusuke Morino	201506	Groupe d'etude de philosophie japonaise	○
国際会議 (proc.なし)	The Concept of Place on Nishida Kitarô	Yusuke Morino	201506	PASSAGES PHILOSOPHIQUES	—

学生氏名	小谷 弥生	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	『校舎の静脈』(日と聡子著)	小谷弥生	201511	週刊読書人	—
発表 (その他)	Death Instinct and Three Writings of "Crack" in Difference and Repetition	Kotani.Y	201506	The 3rd International Deleuze Studies in Asia Conference 2015	○
発表 (その他)	Une recherche de l'instinct de mort: césure et fêlure	Kotani.Y	201506	PARIS-OSAKA passages Philosophiques	—
翻訳	カントとマゾッホ (※翻訳論文の日本語タイトル)	フランソワ・ズーラビシヴィリ 著、小谷弥生 訳	201510	ドゥルーズ没後 20 年 新たな展開	—
解説・総説	『ザッヒエル＝マゾッホ紹介』	小谷弥生	201510	ドゥルーズ没後 20 年 新たな展開	—

学生氏名	佐原 浩一郎	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル『《オートネ／オートネ》より池田扶美代のモノローグ』におけるダンスの場の構築について	佐原浩一郎	印刷中	年報人間科学、第 37 号、pp. 175-188	—

学生氏名	米田 翼	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	エラン・ヴィタルの一つの生物学的源泉としてのヴァイスマン—獲得形質の遺伝についてのベルクソンの批判的考察を手がかりにして	米田翼	201509	日仏哲学会	—
国内学会	〈自然的システム〉と〈人為的システム〉—ベルクソン哲学における生命と認識の理論についての一考察	米田翼	201512	西日本哲学会	—
発表 (その他)	La connaissance et la vie	米田翼	201506	Paris Ouest Natterre で開催された哲学 WS にてフランス語で発表	—
その他	Au sujet de l'existence du monde	P.A.Miquel (訳・米田翼)	201512	2015 年度国際ベルクソンシンポジウムにおける P.A. Miquel 氏の発表原稿の翻訳	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	米田翼	平成 27 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励金)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	上野 隆弘	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Daniel Parrochia et Valentina Tirloni (ed.), Formes, systèmes et milieux techniques après Simondon, Jacques André, 2012	上野隆弘	201603	年報人間科学	—

学生氏名	小川 歩人	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	The problem of the discontinuity in Derrida's works	小川歩人	201506	エラスムス・ムンドゥス・ユーロフィロソフィー&大阪大学人間科学研究科第 4 回国際学生ワークショップ	—
発表 (その他)	ジャック・デリダにおける技術的身体性について	小川歩人	201507	哲学若手研究者フォーラム	—
翻訳	「動物は人間のように愚かであることができるか——デリダとドゥルーズをめぐる「超越論的愚かさ」について」	西山雄二, 小川歩人	201510	『ドゥルーズ 没後 20 年 新たな転回』, 河出書房新社, pp. 439-449, 2015 年.	—

翻訳	「テキストと生物——生物学と脱構築のあいだのジャック・デリダ」	西山雄二, 小川歩人	印刷中	2015 年度『人文学報(フランス文学)』, 首都大学東京.	—
----	---------------------------------	------------	-----	--------------------------------	---

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	小川歩人	独創的教育活動資金	大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム

学生氏名	織田 和明	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	九鬼周造と永遠の問題—「時間の観念と東洋における時間の反復」読解—	織田和明	201507	哲学若手研究者フォーラム	—
国際会議 (proc. なし)	Kuki Shuzo and The Transmigration-Hybrid of Oriental and Western Philosophy —	ODA Kazuaki	201506	エラスムス・ムンドゥス・ユーロフィロソフィー&大阪大学人間科学研究科第4回国際学生ワークショップ	—
国際会議 (proc. なし)	Kuki Shuzo and Contingent World	Oda Kazuaki	201512	The First Annual Conference of the ENOJP	○

学生氏名	多田 一夫	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	内田義彦の世界—1913-1989 生命・芸術そして学問	多田一夫	201603	年報人間科学第37号	—

学生氏名	平田 公威	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	『意味の論理学』における動詞の理論について	平田公威	201603	日仏哲学会 (京都大学)	—
発表 (その他)	『意味の論理学』における人称の問題について	平田公威	201507	哲学若手研究者フォーラム	—

指導教員	村上 靖彦	講座/研究分野	現代思想
------	-------	---------	------

学生氏名	竹谷 美佐子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	舞踊の稽古における「習慣」の獲得 技法遂行時の身体の再構成の観点からの考察	竹谷美佐子	201603	統合人間学研究 第1号	○

学生氏名	今江 秀史	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	名勝無鄰庵庭園にみる恒常維持管理の実態と一般性	今江秀史・阪上富男・加藤友規	201503	日本庭園学会誌, 29, 50-72	○
学術論文 (学会誌)	名勝無鄰庵庭園にみる緊急修理の実態と一般性	今江秀史・阪上富男・加藤友規	201503	日本庭園学会誌, 29, 73-82	○
研究ノート	怡園の成立にみる庭の所有者における志向性	今江秀史	201506	平成 27 年度日本庭園学会全国大会 研究発表	—
研究ノート	廣誠院の隣接地における建設工事に伴う調査・記録にみる庭の所有者の志向性	今江秀史	201506	平成 27 年度日本庭園学会全国大会 研究発表	—
研究ノート	京都市内に拠点をおく庭師集団の言語活動にみる文化財庭園の維持管理の実態と本質	今江秀史	201509	第 72 回臨床実践の現象学研究会 研究発表	—
研究ノート	京都円山公園の成立の経緯にみる独立機能としての庭園の誕生	今江秀史	201511	平成 27 年度日本庭園学会関西大会 研究発表	—
研究ノート	『御堂関白記』の記述と平安京跡における発掘調査結果にみる平安期貴族住宅の庭の認識と意味	今江秀史	201511	平成 27 年度日本庭園学会関西大会 研究発表	—
研究ノート	庭園遺構の保存と文化財保護の制度の現状	今江秀史	201511	日平成 27 年度本庭園学会関西大会 シンポジウム	—
国内学会	史跡本願寺境内にみる中世から近世にかけての庭の意味の変化	今江秀史	201512	関西近世考古学研究会, 23, 1-12	—
著書	門跡寺院特有の庭	今江秀史	201602	宇野日出男編, 実相院門跡展, 思文閣出版	—

学生氏名	赤阪 辰太郎	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	サルトルを読むメルロ＝ポンティ『文学とは何か』をめぐる	赤阪辰太郎	201509	『メルロ＝ポンティ研究』, 19, 45-57	○

学術論文 (その他)	新たな仕方で世界を描くこと—前期サルトルの哲学的企図についての試論	赤阪辰太郎	印刷中	『年報人間科学』, 37	○
国内学会	「サルトルの哲学」——『サルトル読本』第Ⅱ部、第Ⅲ部への質問	赤阪辰太郎	201507	日本サルトル学会第 35 回研究例会『サルトル読本』出版記念シンポジウム (立教大学)	—
国内学会	間接的な他者への通路—初期サルトルにおける	赤阪辰太郎	201509	日仏哲学会 2015 年秋季研究大会 (立教大学)	○
国内学会	初期サルトルにおける他者経験の直接性について	赤阪辰太郎	201509	2015 年中部哲学会大会 (富山大学)	○
発表 (その他)	Du statut d' autrui dans l' épreuve du regard chez Sartre	Shintaro Akasaka	201511	The 2nd Workshop on the Philosophy : Osaka University-Université de Louvain-La-Neuve(Osaka)	—
翻訳	集団 - 同一化の現象学的理論	アレッサンドロ・サリーチェ, 赤阪辰太郎	201511	『現象学年報』, 31, 35-46	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	赤阪辰太郎	平成 27 年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	篠塚 友香子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
翻訳	オープンダイアログにおける対話実践の基本要素 -よき実践のための基準- (日本語タイトル)	山森祐毅・篠塚友香子	201506	Web 公開論文 (http://umassmed.edu/psychiatry/globalinitiatives/open-dialogue-japanese/)	—

学生氏名	戸田 千枝	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
著書	第 4 章「死産をケアする」	林信弘・尾崎雅子・羽鳥憲一・戸田千枝・近藤正樹・高野容子・高田邦夫・深田金剛・山田良憲	201505	京都人間学塾編「人間であること」, 晃洋書房 p84-108	—

学生氏名	岡本 かおり	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	レヴィナス『存在の彼方へ』における主体と認知症	岡本 かおり	201507	2015 年哲学若手研究者フォーラム	—
発表 (その他)	A study of dementia using phenomenological philosophy	岡本 かおり	201603	Laboratory of thinking 2016	—
報告書(大学/研究所等)	気仙沼フィールドワーク報告書「「つながり」の繋がり」	岡本かおり・金夏琳・査凌・西澤歩未・増田智香	201603	『未来共生学』第 3 号	—

学生氏名	堀松 辰彦	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	レヴィナス『実存から実存者へ』の文法論的読解	堀松辰彦	201507	哲学若手研究者フォーラム	—
国際会議 (proc.なし)	Object in De l'existence à l'existant	Tatsuhiko HORIMATSU	201505	Phenomenology and Vulnerable Others	—
国際会議 (proc.なし)	Être soi -- grammaire et son au-delà chez le jeune Levinas	Tatsuhiko HORIMATSU	201511	2nd Workshop on Philosophy: Osaka University-Université de Louvain-la-Neuve	—

指導教員	Schwentker Wolfgang	講座/研究分野	現代人間学
------	---------------------	---------	-------

学生氏名	周 雨霏	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	China in the Mirror of German Sinology: Karl August Wittfogel and his Wirtschaft und Gesellschaft Chinas in Japan.	ZHOU Yufei	201510	比較文化研究	○
学術論文 (学会誌)	戦時期平野義太郎の中国研究	周雨霏	201602	南開日本研究	○
学術論文 (学会誌)	「東洋的社会論」から「東亜共同体」へ：戦時期日本における K.A.ウィットフォーゲル思想の受容と変容を論じる	周 雨霏	201602	比較文化研究	○
国内学会	戦前・戦中期日本のアジア社会論における〈アジア的なもの〉—概念の形成と意味の変遷—	周 雨霏	201510	日本思想史学会	○

国際会議 (proc.あり)	Die Genealogie des „Asiatischen “ Die marxistische Historiographie in den Kriegszeiten und Japans Chinaforschung	ZHOU Yufei	201508	Japanologentag 2015	○
-------------------	--	------------	--------	---------------------	---

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201603	周 雨霏	CHINESE GOVERNMENT AWARD FOR OUTSTANDING SELF-FINANCED STUDENTS ABROAD	China Scholarship Council

指導教員	中川 敏	講座/研究分野	人類学
------	------	---------	-----

学生氏名	片 雪蘭	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
翻訳	『こもる力』	片 雪蘭		201507	出版社ペーパーロード	—
報告書(大学/ 研究所等)	Observation report on Stitches of Tibet	片 雪蘭		印刷中	Voice, 11, Tibetan Women's Association	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	片 雪蘭	笹川科学研究助成	公益財団法人日本科学協会
201504	片 雪蘭	大学院生等に対する研究活動助成	公益信託澁澤民族学振興基金

指導教員	栗本 英世	講座/研究分野	人類学
------	-------	---------	-----

学生氏名	TSERENDAGVA MUNKHBAYASGALAN		学年	DC3	
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	草原で生きつづける人々大地に宿る豊かさの探究ー	TSERENDAGVA MUNKHBAYASGALAN	201506	モンゴル研究会	ー
報告書(大学/ 研究所等)	モンゴルにおける人々の移動とその特徴	TSERENDAGVA MUNKHBAYASGALAN	201603	GLOCOL フィールドスタディ 報告書	ー

学生氏名	藤井 真一	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	ソロモン諸島ガダルカナル島における漆黒の器「ポポ (popo)」の利用をめぐって	藤井真一	201512	生態人類学会ニュースレター、第 21 号、39-43 頁。	—
国内学会	ソロモン諸島ガダルカナル島における漆黒の器「ポポ (popo)」の利用をめぐって	藤井真一	201503	第 20 回生態人類学会研究大会、於秋田県仙北市	—
発表 (その他)	日常の社会的構成—ソロモン諸島ガダルカナル島における紛争前後の暮らしから	藤井真一	201510	第 71 回神戸人類学研究会、於神戸大学	—
発表 (その他)	暴力と平和カーソロモン諸島の「民族紛争」渦中における生存戦略	藤井真一	201511	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題「人類社会の進化史的基盤研究(4)—生存・環境・極限—」第 2 回研究会 (代表: 河合香史)、於東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	—
発表 (その他)	文化人類学の考え方と方法—ソロモン諸島の—社会のフィールドワークから	藤井真一	201512	講義「文化人類学Ⅱ—人間の多様性と普遍性」(文・経・医・薬学部対象)、於慶應義塾大学	—
翻訳	キャスパ・イエンセン&ティエティル・ロジェ『『ドゥルージアンの交差点』序論』	藤井真一	201602	現代思想 (3 月臨時増刊号)、第 44 巻、第 5 号、128-161 頁。	—
その他	戦争の周縁で—ガダルカナル島の「戦い」と民衆の平和	藤井真一	201507	季刊民族学、第 153 号、30-42 頁。	—
その他	フィールドワーカーのおみやげ	藤井真一	201601	FIELD PLUS、第 15 号、34 頁。	—

学生氏名	松崎 遼子	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国際会議 (proc.なし)	Connecting Fields of Art and Religion:Modern Shaman Organizations and Their Ritual in South Korea	Ryoko Matsuzaki	201507	The 9th International Convention of Asia Scholars	○	
国際会議 (proc.あり)	現代韓国における巫俗人アソシエーションの活動	松崎遼子	201602	東 ASIA 宗教研究 FORUM 創立記念国際学術大会	—	

学生氏名	村橋 勲	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	難民開発援助とフードセキュリティーウガンダ、キリヤドongo難民村の事例	村橋勲	201503	科研費補助金(基盤研究(B))「現代エチオピア国家の形成と農村社会における女性の役割に関する実証的研究」(南山大学)	—
国内学会	長期滞留難民の生計戦略と新たな葛藤—ウガンダ、キリヤドongo難民居住地の事例	村橋勲	201504	第24回日本ナイル・エチオピア学会(藤女子大学)	○
報告書(大学/研究所等)	戦火の一年—南スーダンにおける内戦と和平の行方	村橋勲	201504	JANES(日本ナイル・エチオピア学会)ニユースレター22,23・34.	○
発表 (その他)	難民の生活を描く映像作品に向けて	村橋勲	201506	民博共同研究会「映像民族誌のナラティブの革新」(民族学博物館)	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201507	村橋勲	若手難民研究者奨励賞	難民支援協会/真如苑

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	村橋勲	平成27年度公益信託澁澤民族学基金「大学院生等に対する研究活動助成」	澁澤民族学振興基金

指導教員	森田 敦郎	講座/研究分野	人類学
------	-------	---------	-----

学生氏名	KRAUSE LIV NYLAND	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	人新世の時代における実験システム 人間と他の生物との関係の再考へ向けて	鈴木和歌奈+森田敦郎+ <u>Krause Liv Nyland</u>	201603	『現代思想 2016年3月臨時増刊号』人類学のゆくえ 中沢新一監修	—
国際会議 (proc.なし)	Comments on Ashley Carse, Dirty Landscapes: Infrastructure, Boundary Work, and Weediness in Panama	Krause Liv Nyland	201510	Infrastructure, Environment and Life in the Anthropocene Workshop, Concordia University, Montreal	—
発表 (その他)	Conjuring up ecological worlds in business innovation practices	Krause Liv Nyland	201602	Infrastructures, Future-making and Imagination Workshop	—

学生氏名	古川 不可知	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	2015年ネパール大地震ノート	古川不可知	印刷中	『未来共生学』	—
書評	Penny Harvey and Hannah Knox. Roads: An Anthropology of Infrastructure and Expertise	古川不可知	印刷中	『年報人間科学』	—
国内学会	ネパール・ソルクンプ郡におけるポーターの实践と相互差異化の言説	古川不可知	201509	日本南アジア学会第28回研究大会	○
国内学会	仕事は探検 ——ネパール・ソルクンプ郡、シェルパの村の生業と変容	古川不可知	201511	山岳文化学会第13回大会	○
国内学会	シェルパの村の生業と変容 ——ネパール・ソルクンプ郡の登山とトレッキングをめぐる	古川不可知	201602	ヒマラヤ地域研究の現在・第40回南アジア・インド洋世界研究会	—
国内学会	線から道へ ——ティム・インゴルドとエフエメルな天候世界の存在論	古川不可知	201603	現代人類学研究会「存在論的転回の行く先」	—
翻訳	「タブー」「月経のタブー」「オクシデンタリズム」「クレオール化」	古川不可知	201601	『スクリプナー思想事典』	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	古川不可知	特別研究員奨励費	日本学術振興会

2-2-5. 教育学系

教育学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率	
	142 名	131 名	92.3 %	75 名	52.8 %	※在籍者には休学者を含む

指導教員	藤川 信夫	講座/研究分野	教育人間学
------	-------	---------	-------

学生氏名	徳永 健介	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	支援のジレンマ序論～現場実践における対概念の緊張関係を巡って～	徳永健介		201602	紀要 国立武蔵野学院・きぬ川学院	—
著書	よくわかる社会的養護内容第3版	小木曾宏・宮本秀樹・鈴木崇之編、 <u>徳永健介</u>		201504	ミネルヴァ書房	—
著書	基本保育シリーズ 社会的養護⑥	<u>相澤仁</u> ・林浩康編、 <u>徳永健介</u>		201507	中央法規	—
翻訳	施設・里親家庭で暮らす子どもとはじめるクリエイティブなライフストーリーワーク	ケネディー・レンチ、レズリー・ネイラー、 <u>徳永健介</u> 共訳		201507	福村出版	—

学生氏名	中嶋 尚子	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	実践知の継承方法としての「舞台の再演」－エビデンスによらない看護師の実践から－	中嶋尚子		201508	日本看護学教育学会第 25 回学術集会	○

学生氏名	MAWER KIM GISELA	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	Casting new light on shadow education: snapshots of juku variety	Kim Mawer	201510	Contemporary Japan	○	
国際会議 (proc.あり)	The Plan to Introduce a Dual-Language International Baccalaureate Diploma into 200 Japanese Schools: Analysis of the Context of Educational Transfer	Beverley Ann Yamamoto, Yukiko Ishikura, Mari Tsugawa, <u>Kim Mawer</u>	201503	Comparative and International Education Society Conference	—	
国内学会	How is kojins juku culture constituted and renegotiated within social contexts in Japan? - participant observations of classes and teachers' everyday teaching practices	Kim Mawer	201508	日本教育学会	—	

学生氏名	古波蔵 香	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	戦中期における長田新の平和教育思想－『新 知育論』(1939)の教育思想を手がかりに－	古波蔵 香		201509	日本教育学会	—

学生氏名	上林 梓	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
発表 (その他)	ギャビン・ボルトンのドラマ教育論の歴史的 位置づけと今日的意義	上林 梓	201511	関西教育学会第 67 回大会	—	
発表 (その他)	The potentiality of Drama in Education in Japan	Azusa UEBAYASHI	201602	Asian Link of Philosophy of Education Winter Seminar2016	—	

指導教員	前迫 孝憲	講座/研究分野	教育工学
------	-------	---------	------

学生氏名	河崎 哲嗣	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	(特集) 高等学校における数学的モデリングに関する実践事例ーモデリング・チャレンジプログラムの記録ー	稲葉芳成・河崎哲嗣・ 黄瀬正敏・柳本哲	201603	科学教育研究 Vol.40-2/ 一般社団法人日本科学教育学会 (JSSE) 未定	○	
学術論文 (学会誌)	中高生の数学的モデリングチャレンジプログラ ム開発ー 理科的問題コースの実施内容とその 考察ー	柳本哲・谷口和成・深 尾武史・河崎哲嗣・宮 川敏之・吉村昇	201603	科学教育研究 Vol.40-2/ 一般社団法人日本科学教育学会 (JSSE) 未定	○	
学術論文 (学会誌)	数学的モデリングによるイノベーション教育 に関する研究ー「ソファ問題」を通して顕在 化した関数教育及び図形教育の課題と提案ー	河崎哲嗣・黄瀬正敏・ 前迫孝憲・稲葉芳成	201602	近畿数学教育学会会誌(29)/ 近畿数学教育学会	○	

学術論文 (学会誌)	日常現象の図形モデル表現を目指した教材研究 —2次曲線を日常現象の解明に活かすための空間図形教育の教材開発 (その1) —	紀平武宏・竺沙敏彦・河崎哲嗣	201510	数学教育学会誌, Vol.56(No.1・2)/ 一般社団法人 数学教育学会	○
学術論文 (その他)	小学校高学年における実験データを活用した線形回帰モデルの教育実験 — 変量の「抽出」から「関係性」までを見通す紙ヘリコプター製作 —	稲葉芳成・河崎哲嗣	201603	岐阜大学教育学部研究紀要 (教育実践) 第18巻	—
学術論文 (その他)	日常現象と空間図形を関連付けた直観力を育てる数学教育 — 見えない物の「想像力」と視点移動による形状の「推測力」 —	河崎哲嗣・前迫孝憲	201603	岐阜大学教育学部研究紀要 (教育実践) 第18巻	—
国内学会	小中学生を対象とした紙ヘリコプターを用いたデータに基づく問題解決の実践研究	稲葉芳成・河崎哲嗣	201510	第58回近畿数学教育学会例会/ 近畿数学教育学会	—
国内学会	独連邦共和国・バイエルン州における教科「情報」に関するモデリングの扱い —ロジカルシンキングの涵養を目的とした教育内容の充実を目指して—	桑原承太郎・河崎哲嗣	201508	日本科学教育学会年会論文集 39/ 一般社団法人日本科学教育学会 (JSSE)	—
国際会議 (proc.あり)	A PRACTICAL STUDY OF PROBLEM SOLVING BASED ON DATA BY USING OF A PAPER HELICOPTER FOR 5TH 6TH AND 7TH GRADERS	稲葉芳成・河崎哲嗣	201603	50. Jahrestagung der Gesellschaft für Didaktik der Mathematik / Gesellschaft für Didaktik der Mathematik	—
国際会議 (proc.あり)	Internationales Lehr-Forschungsprojekt zur Evaluation interkultureller Hypothesen - Umweltschutz in Brasilien, Deutschland und Japan	Mutfried Hartmann, Thomas Borys, Tetsushi Kawasaki, Arno Bayer	201603	50. Jahrestagung der Gesellschaft für Didaktik der Mathematik / Gesellschaft für Didaktik der Mathematik	—
国際会議 (proc.なし)	Present State of ICT at School in Japan — Government Support and Attitudes of Teachers and Students —	桑原承太郎・村橋貴之・河崎哲嗣	201510	Mini Conference and Multiplier Event in Karlsruhe/ The Mobilising and Transforming Teacher Education Pedagogies (MTTEP)	—
著書	Mathematical Modelling in Education Research and Practice Cultural, Social and Cognitive Influences /Mathematical Modelling Challenge Program for J.H.S. Students in Japan	Gloria Ann Stillman, Werner Blum, Maria Salett / 柳本哲, 河崎哲嗣, 吉村昇	201507	Springer International Publishing AG Switzerland	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	柳本 哲	科学研究費助成事業	日本学術振興会
201504	河崎 哲嗣	科学研究費助成事業	日本学術振興会
201504	河崎 哲嗣	研究成果の社会還元・普及事業, ひらめき☆ときめきサイエンス ~ようこそ大学の研究室へ~ KAKENHI	公益財団法人田口福寿会

学生氏名	孫 帙	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	Development and Dynamics of Informational Education in Elementary School in Japan	<u>Sun Zhi</u> , Li Zhe, Maesako Takanori, Zhang Hai	201504	China Informational Technology	○	
学術論文 (学会誌)	Japanese Language Learning Assistant System of Constructing the Relation Diagram Between Sentence Pattern and Vocabulary for Chinese Learners of Japanese	Li Zhe, <u>Sun Zhi</u> , Nishimori Toshihisa, Maesako Takanori	201511	Japanese Society for Information and Systems in Education	○	
学術論文 (学会誌)	New Exploration of Distance Education in Philips: The application and practice of TV White Space	Carpio Marife, Li Zhe, <u>Sun Zhi</u> , Zhao Simiao, Zhang Hai	201512	China Informational Technology	○	
学術論文 (学会誌)	Chinese language learning assistant system based on Chinese-Japanese character correspondence	Li Zhe, Maesako Takanori, Nishimori Toshihisa, <u>Sun Zhi</u> .	201601	Japanese Journal of Educational Media Research	○	
学術論文 (その他)	A Literature Review of Research on Knowledge Building to Education (In publish)	<u>Sun Zhi</u> , Li Zhe, Zaorski Spence, Marife Carpio.	201603	Annals of Educational Studies Osaka University	○	

学生氏名	森田 健宏	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	幼稚園における今後の防災教育とその教材のあり方についての検討	森田健宏	201505	日本保育学会第 68 回大会	—	
国内学会	タブレット端末に対応した幼児用アプリの評価	松山由美子,佐藤朝美, 奥林泰一郎,堀田博史, 森田健宏,松河秀哉, 中村恵,深見俊崇	201505	日本保育学会第 68 回大会	—	
国内学会	保育活動にタブレットを導入する実践評価の検討	中村恵,松山由美子,佐藤朝美,奥林泰一郎,堀田博史,松河秀哉,深見俊崇,森田健宏	201505	日本保育学会第 68 回大会	—	

国内学会	教職科目間の連携による学校心理学に関する知識の充実化に向けた検討	森田健宏・渡部晃正	201508	日本学校心理士会 2015 年度全国大会	—
著書	保育の心理学Ⅱ	田爪宏二（編著）・森田健宏	201603	あいり出版	—
報告書(大学/研究所等)	国際的な感覚を育むために初等教育では何が求められるかⅡ	森田健宏・岡澤潤次・角野茂樹	201602	関西外国語大学国際文化研究所 言語・文化研究フォーラム	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	森田健宏	幼児・児童用避難行動パターン学習シミュレーターの開発と多様な避難誘導可能性の検討	独立行政法人 日本学術振興会
201504	堀田博史	タブレット端末を活用する幼稚園版「学びのイノベーション」カリキュラムの実践と評価	独立行政法人 日本学術振興会
201504	松山由美子	幼稚園における子どもの学びと保育者の援助を支援する情報端末アプリケーションの開発	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	徳永 基与子	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	誤りから学ぶ看護技術の学習システムの効果	徳永基与子・平野加代子	201601	教育システム情報学会誌 Vol33, No.1, 2015	○
国内学会	看護技術の自己学習活動を支える実習室予約システム	平野加代子・徳永基与子・山下舞琴	201601	第10回 医療系eラーニング全国交流会	○
国内学会	身体侵襲を伴う処置を受ける患者のイメージ化を促すための技術演習	平野加代子・徳永基与子・真嶋由貴恵	201508	第41回 日本看護研究学会学術集会	○
国際会議(proc.あり)	The evaluation of nursing students to nursing skill practices using the Blended Learning in Japan	徳永基与子・山口曜子・山本美輪	201603	2016 2nd International Conference Learning and Teaching	○
国際会議(proc.あり)	Proposal of Strategies to Create a Case of Virtual Patient for Nursing Education	平野加代子・徳永基与子	201603	2016 2nd International Conference Learning and Teaching	○

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201601	鹿内信善・徳永基与子・平野加代子	看図アプローチへの招待・1「授業の共同学習を取り入れたいのですが・・・」それなら看図アプローチです！/看護技術の授業の中に共同学習を取り入れる手法として、看図アプローチを事例で紹介	看護教育 Vol.57, No.1/JAN 2016

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	徳永基与子(京都光華女子大学)	文部科学省 科学研究費助成事業 基盤 C	日本学術振興会

学生氏名	藤川 聡	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	The Comparison about Self-awareness of Skills for Using a Saw of the Regional Characteristics of three kinds of Schools	Shinichi Harada, Satoshi Fujikawa, Shigeki Ando	201506	International Journal of Innovations in Engineering and Technology, Special Issue ACEIAT & JTSTE	○
学術論文(その他)	Benefits of Prior Learning in Woodworking Education by Incorporating Failure Experiences	Satoshi Fujikawa, Fumitaro Sekine, Takanori Maesako	201505	5th Pacific Rim Conference on Education Proceedings	○
国内	木製品における使用目的・使用条件に即した設計能力を高める指導法の検証	藤川聡, 前迫孝憲, 原田信一, 安藤茂樹	201508	日本産業技術教育学会 第58回全国大会	—
国内	回路選択から製品設計を可能にする製作題材の開発及び実践	藤川聡, 佐々木茂樹	201508	日本産業技術教育学会 第58回全国大会	—
国際会議(proc.あり)	Development of the "LED Desk Light" as a Teaching Material for Enhancing Students' Interest in Binary Digits	Satoshi Fujikawa, Akira Kikuchi	201508	ICAEME2015 & 2nd ACEIAT 2015	—
国際会議(proc.あり)	Discussion about Educational Effects of Woodworking Education in Japan: With focusing on X Junior High School	Satoshi Fujikawa, Shinichi Harada, Tadakuni Koizumi, Takemi Mizukami	201508	ICAEME2015 & 2nd ACEIAT 2015	—
著書	第3章 第3節, 「回路設計力を育む思考ルーツの活用 ―思考力・判断力・表現力からメタ認知的自己評価力の育成まで―」	藤川聡	201510	『アクティブラーニングで深める技術科教育』(安東茂樹 編著), 開隆堂	—

学生氏名	齋藤 陽子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	21世紀型能力を高める意識化授業に関する研究Ⅰ	齋藤陽子	201508	日本教育情報学会	—
国内学会	複数尺度による授業分析	生田孝至・齋藤陽子	201509	日本教育工学会	—
著書	授業実践研究用 授業計画・実践・浄化の資料(1)	後藤忠彦・齋藤陽子	201511		—

著書	よりよい授業のための 教育情報の処理 情報を知り、考え、利用	後藤忠彦・横山隆光・眞喜志悦子・佐々木恵理・齋藤陽子	201512		—
----	--------------------------------	----------------------------	--------	--	---

学生氏名	竹中 喜一	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	アクティブラーニングとしての反転学習 2(実践編)	本田周二・安部有紀子・七田麻美子・竹中喜一	201512	大学教育学会誌,第 37 巻第 2 号,49-53	—
国内学会	学修支援者としての事務職員育成における反転学習の実践	竹中喜一	201506	大学教育学会第 37 回大会 (長崎大学)	—
国内学会	関西大学における教学 IR の推進に向けた取り組み	原田健太郎・森朋子・岩崎千晶・竹中喜一・脇田貴文・田中俊也・川崎友嗣	201506	大学教育学会第 37 回大会 (長崎大学)	—
国内学会	「教える」と「学ぶ」を支援する 能動的な教学 IR のあり方に関する一考察 -学習研究と教学 IR-	森朋子・原田健太郎・岩崎千晶・土井健嗣・竹中喜一	201506	大学教育学会第 37 回大会 (長崎大学)	—

学生氏名	Zhao Simiao	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	日本個性化学習環境実証項目 “ICT 夢想学校” 概述及启示	趙思邈; 李哲; 前迫孝憲; 張海	201509	中国信息技术教育	○
学術論文(学会誌)	菲律宾远程教育新探索—电视空白频段的应用与实践	Marife Duldulao Carpio; 李哲; 孫帙; 趙思邈; 張海	201512	中国信息技术教育	○

学生氏名	米田 照美	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	看護学生の協同作業認識と大学生活の経験との関連性	米田照美	201508	日本看護学教育学会誌講演集 (p193) / 第 25 回日本看護学教育学会	○
国内学会	看護師を対象とした日勤勤務 5 日間における携帯型ボディメカニクス学習システムの活用とその評価	伊丹君和	201508	日本看護学教育学会誌講演集 (p213) / 第 25 回日本看護学教育学会	○
国内学会	「病棟廊下環境」観察時における看護学生と看護師の危険認知に関する観察力の違い	米田照美	201512	日本看護科学学会学術集会講演集 (p383) / 第 35 回日本看護科学学会	○
国内学会	携帯型ボディメカニクス学習システムの活用による看護師姿勢改善効果に関する研究	関 恵子	201512	日本看護科学学会学術集会講演集 (p367) / 第 35 回日本看護科学学会	○
国際会議 (proc.あり)	Differences in the risk awareness between nursing students and clinical nurses in the environment around patients' beds	Terumi Yoneda	印刷中	19th East Asian Forum of Nursing Scholars (2016.March.14-15)	○
国際会議 (proc.あり)	Use and assesment of portable learning materials to give real-time warning of dangerous forward ieainig angles during nurseing activities that cause low back pain.	Kimiwa Itami	印刷中	19th East Asian Forum of Nursing Scholars (2016.March.14-15)	○
学術論文(学会誌)	看護学生と看護師のベッド周辺環境の観察力の違い	米田照美	201503	看護人間工学研究誌 Vol.14 p35-40) / 日本人間工学会看護人間工学部会	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	米田照美	平成 25～27 年度 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	斉藤 和彦	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	高等学校におけるグローバル化を志した科学教育研究事業 ー京都府 SSH・SGH の実際ー	河崎哲嗣, 斉藤和彦, 前迫孝憲	201504	岐阜大学教育学部研究紀要 (教育実践) 第 17 巻	—
学術論文(その他)	学びの転換を図るカリキュラム改革 ーSSH の取組を通してー	斉藤和彦	印刷中	大和大学研究紀要第 2 巻	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	河崎哲嗣	平成 27 年度科学研究費補助金 (共同研究)	独立行政法人 日本学術振興会

指導教員	西森 年寿	講座/研究分野	教育工学
------	-------	---------	------

学生氏名	中村 雅子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	学習者の特性が協同学習中の発言行動に与える影響の分析	中村雅子・西森年寿・前迫孝憲	201603	日本教育工学会研究会	—

指導教員	三宮 真智子	講座/研究分野	教育コミュニケーション学
------	--------	---------	--------------

学生氏名	飯島 睦美	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	「英語学習における特異な困難と指導法」	里見恵子, 緒方明子, 三木さゆり, 大谷みどり, 河村暁, 飯島睦美	印刷中	LD, ADHD & ASD, 明治図書	—
学術論文(その他)	「特別支援教育に学ぶ英語の指導技術」	飯島睦美, 加賀田哲也	201508	英語教育, Vol.64 No.5、大修館	—
国内学会	「英語学習における特異な困難と指導法」	里見恵子, 緒方明子, 三木さゆり, 大谷みどり, 河村暁, 飯島睦美	201511	日本 LD 学会第 24 回大会	○
国内学会	「小学校外国語活動・中高英語の授業における児童・生徒のつまづき」	大谷みどり, 飯島睦美, 大山英子, 宮崎紀雅, 築道明, 小川巖, 樋口和彦	201511	日本 LD 学会第 24 回大会	○
国際会議(proc.あり)	Is Cognitive Load in TEFL Always Undesirable?	IJIMA, Mutsumi	201508	6th Foreign Language Education and Technology	○
その他	英語学習の方法	飯島睦美	201510	兵庫県豊岡市立豊岡南中学校にて全校生を対象とした英語学習方法に関する講演	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	大谷みどり(代表), 飯島睦美 他	科学研究費 (b) 2013 年 4 月～2018 年 3 月	日本学術振興会
201504	飯島睦美	科学研究費 (c) 2013 年 4 月～2016 年 3 月	日本学術振興会

学生氏名	亀岡 正睦	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	メタ認知的活動における量的指標と質的指標の関連	久坂哲也・大谷和太・古本温久・三宮真智子・亀岡正睦	201509	日本教育工学会第 31 回全国大会	—
国内学会	問題解決過程におけるメタ認知的活動の推移に関する考察～メタ認知を on-line で可視化するふきだし法を用いて～	古本温久、久坂哲也、大谷和太、亀岡正睦	201511	第 48 回日本数学教育学会秋期研究大会	○

学生氏名	久坂 哲也	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	我が国の理科教育におけるメタ認知研究の動向	久坂哲也	印刷中	理科教育学研究	○
国内学会	科学的探究能力に対する自己評価の正確さ：中学生を対象とした評価問題と質問紙の比較調査を通して	久坂哲也・三宮真智子	201508	日本教育心理学会第 57 回総会（朱鷺メッセ）	—
国内学会	大学生の科学的思考に対する認知：計量テキスト分析を用いた評価の試み	久坂哲也・名越利幸・八木一正・三宮真智子	201508	日本科学教育学会第 39 回年会（山形大学）	—
国内学会	科学的探究能力の評価問題の作成と検討	久坂哲也・三宮真智子	201508	日本理科教育学会第 65 回全国大会（京都教育大学）	—
国内学会	メタ認知的活動における量的指標と質的指標の関連	久坂哲也・大谷和太・古本温久・亀岡正睦・三宮真智子	201509	日本教育工学会第 31 回全国大会（東京電気通信大学）	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	久坂哲也	平成 27 年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	澤山 郁夫	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	The effect of interconnections between learners on the duration of academic workload in e-learning for rote exercises	Sawayama,I. & Terasawa,T.	印刷中	Educational technology research, 39	○

学術論文 (学会誌)	大学生における Twitter 閲覧頻度と同調志向及び自己関連情報の収集に関わる心理特性との関連	澤山郁夫・三宅幹子	201511	パーソナリティ研究, 24(2), 137-146	○
国内学会	客観的指標による楽観バイアスと特性的自己効力感及び不安上昇量の関連	澤山郁夫・上田紋佳・三宮真智子	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文集, 2PM-068	—
国内学会	Web 上での学習者間相互交流の仕組みが e ラーニングに対する動機づけに与える効果 (IV)	澤山郁夫・三宮真智子・寺澤孝文	201508	日本教育心理学会第 57 回大会発表論文集, 145	—
国内学会	Twitter での思考整理のツイート頻度と私的自意識の関係—公的自意識がもたらす調整効果—	澤山郁夫・三宅幹子	201508	日本パーソナリティ心理学会第 24 回大会発表論文集, 26	—
国内学会	注意バイアス修正トレーニングアプリの開発と評価 (2): ドロップアウト要因の検討	澤山郁夫・上田紋佳・三宮真智子	201507	日本認知心理学会第 13 回大会発表論文集, 97	—
国内学会	注意バイアス修正トレーニングアプリの開発と評価 (1): 不安低減効果の予備的検討	上田紋佳・澤山郁夫	201507	日本認知心理学会第 13 回大会発表論文集, 96	—
国際会議 (proc.なし)	The effect of TSUNAGARI learning system (TLS) on the learners with low efficacy expectations	Sawayama, I., Sannomiya, M., & Terasawa, T.	201507	The 14th European congress of psychology (ECP2015) abstract book, 2136	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	澤山 郁夫	平成 27 年度科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	真下 知子	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	女子大学生間のアドバイス場面における言葉かけによって喚起される反省感情	真下知子・三宮真智子	201508	日本教育心理学会第 57 回総会	—	

学生氏名	磯和 壮太郎	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	社会的クリティカルシンキングとコミュニケーションスキルの関連 —ENDCORE モデルの視点から—	磯和壮太郎	201508	日本パーソナリティ心理学会第 24 回大会 (北海道)	—	
国内学会	社会的クリティカルシンキング志向性は抑うつを抑制するのか —抑うつへの反応スタイルと認知的統制の視点から—	磯和壮太郎・南学	201508	日本教育心理学会第 57 回総会 (新潟)	—	
国内学会	大学生の首尾一貫感覚とコミュニケーションスキルの関係 —人格特性的自己効力感との関わりから—	磯和壮太郎	201509	日本健康心理学会第 28 回大会 (東京)	—	

学生氏名	表谷 純子	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	「認知を支える実行機能とメタ認知」	表谷純子	201601	第 11 回英語教育総合教育学会シンポジウム 「英語の習得と運用を支える脳機能」 (関西学院大学 梅田キャンパス)	○	
国際会議 (proc.なし)	"Does self-monitoring by videotaping students' English role-play improve EFL students' self-efficacy?"	表谷純子	201508	The International Association for Language Learning Technology 外国語教育メディア学会 共催(FLEAT 6) (U.S.A. Harvard University)	○	
国際会議 (proc.なし)	What Metacognitive Knowledge will Help Language Learners? Implications from Neuroscience	表谷純子	201509	NeuroELT Brain Days International Conference FAB 8 (Kyoto)	○	
国際会議 (proc.なし)	Educational Intervention to Improve Self-efficacy?	表谷純子	201511	JALT2015: 41st Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibition (Shizuoka)	○	
著書	English Beams --Essential Skills for Talking and Writing 『大学生のための発信型総合英語演習』	表谷純子、川崎眞理子、Ayed Hasian、Aaloe Paul	201601	金星堂	—	
著書	English for Human Welfare Studies	表谷純子、中野陽子、福居誠二、Ayed Hasian	201601	朝日出版社	—	

指導教員	藤岡 淳子	講座/研究分野	教育心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	奥田 剛士	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
著書	第2章「性暴力とアディクション」	奥田剛士	201601	藤岡淳子編・著「アディクションと加害者臨床-封印された感情と閉ざされた関係」	—
翻訳	第10章「修正版グッドライフ・モデルの評価」	奥田剛士	201511	ボビー・プリント編、藤岡淳子監訳、野坂祐子監訳「性加害行動のある少年少女のためのグッドライフ・モデル」	—

学生氏名	大倉 裕美	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
著書	第4章「女性のアルコール依存症と回復—アルコールホリクス・アノニマスに参加する女性当事者の語り」	大倉裕美	201601	藤岡淳子編・著「アディクションと加害者臨床-封印された感情と閉ざされた関係」 http://kongoshuppan.co.jp/dm/1467.html	—
翻訳	前書き、著者略歴、第1章「グッドライフ・アプローチの背景」	大倉裕美	201511	ボビー・プリント編、藤岡淳子監訳、野坂祐子監訳「性加害行動のある少年少女のためのグッドライフ・モデル」 http://www.seishinshobo.co.jp/book/b211081.html	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	田辺裕美	科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	日本学術振興会

学生氏名	坂東 希	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	つながりのなかで自己理解を深めるポジティブな行動選択のために～児童自立支援施設でのグループワークの実践から	坂東希	201506	第14回トラウマティック・ストレス学会 シンポジウム A-1「児童期における性的トラウマ～早期介入と長期的影響～」	—
著書	子ども時代のトラウマと『感情の封印』からの回復 児童自立支援施設における子どもを対象としたグループ実践より	坂東希	201601	藤岡淳子編著『アディクションと加害者臨床-封印された感情と閉ざされた関係』金剛出版	—
翻訳	第4章若者の動機づけと積極的関与を高めるために	坂東希	201511	藤岡淳子・野坂祐子監訳『性加害行動のある少年少女のためのグッドライフ・モデル』誠信書房 Pp.58-69	—

学生氏名	金 波	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
翻訳	第2章 性加害をした少年への実践の発展	ボビー・プリント編、藤岡淳子・野坂祐子監訳、	201511	「性加害行動のある少年少女のためのグッドライフ・モデル」、誠信書房、	—
著書	第9章 「青少年のインターネット嗜癖」	藤岡淳子 編著、	201601	「アディクションと加害者臨床」、金剛出版、	—

学生氏名	中西 美絵	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
著書	第10章 南スーダンの少女たち：内戦によるトラウマからの回復を支える支援	中西美絵	201601	藤岡淳子（編者）「アディクションと加害者臨床」、金剛出版、Pp168-185	—
翻訳	第7章 治療教育の実践	中西美絵	201511	藤岡淳子・野坂祐子（監訳）「性加害行動のある少年少女のためのグッドライフ・モデル」、誠信書房、Pp145-173	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	中西美絵	平成27年度 科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	毛利 真弓	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表(その他)	回復共同体プログラムの実践と再犯防止効果	毛利真弓	201507	日本弁護士連合会主催シンポジウム「再犯防止の現在」	—
著書	語りの場と犯罪行動からの離脱	毛利真弓	201601	藤岡淳子編「アディクションと加害者臨床」、金剛出版、pp98-114	—

指導教員	老松 克博	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	赤川 力	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	自ら来談した小学生女兒との MSSM (+C) を用いた面接過程 - 特徴的な現象について -	赤川力	201510	遊戯療法学研究 15(1),12-27.	○
学術論文 (学会誌)	父親に対決を試みた中学生男子の事例研究	赤川力	印刷中	日本臨床心理身体運動学会第 18 号第 1 号	○
学術論文 (その他)	中学生における思春期危機について - 一般中学生と不登校中学生に投影法を用いた文献研究から -	赤川力	印刷中	大阪大学教育学系年報 21 号	○
学術論文 (その他)	思春期に入り再び分離を試みた中学女子との面接過程 - 描画・言語連想に注目して -	赤川力	201603	大阪大学大学院心理教育相談室紀要 21,91-107.	—
国内学会	学校臨床において身体症状を訴える中学生女子に言語連想を用いた事例	赤川力	201506	日本ユング心理学会第 4 回大会事例研究発表 p.18	—

学生氏名	遠藤 大貴	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	溢れ出す黒い水 - 40 代男性との面接過程	遠藤大貴	201601	大阪大学心理教育相談室紀要	—

学生氏名	西川 昭子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	「音楽聴取が心理的および生理的ストレスに及ぼす影響」 - 属性の違いによる検討 -	西川昭子	印刷中	音楽心理学音楽療法研究年報、第 44 巻	○
学術論文 (その他)	「音楽聴取が嗜好・気分・イメージに及ぼす影響」 - 量的および質的 検討 -	西川昭子	201512	大阪大学大学院人間科学研究科、心理教育相談室紀要、第 21 号、pp.46-53	—
学術論文 (その他)	「音楽聴取が心理的および生理的ストレスに及ぼす影響」 - 音楽嗜好の違いによる検討 -	西川昭子	印刷中	大阪大学教育学年報、第 21 号	○

学生氏名	竹田 駿介	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	映画アナと雪の女王に見る自己愛的な対象関係とその意識化に関する臨床心理学的考察	竹田駿介	印刷中	大阪大学教育学年報第 21 号	—
発表 (その他)	青年期の自己愛の類型と対人関係に関する質的研究 - 複数の自己の側面から -	竹田駿介	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会 ポスター発表	—

学生氏名	原口 喜充	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	日々の保育における担任保育者の保育体験 - 保育者の主観的体験に注目して -	原口喜充	印刷中	保育学研究	○
国内学会	日々の保育における担任保育者の 2 つの保育体験	原口喜充	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会 (兵庫教育大学)	—
国内学会	保育者のこころに注目した 1 年間の振り返り面接	原口喜充	201505	日本保育学会第 68 回大会 (相山女学園大学)	—
国内学会	父親への子育て支援プロジェクトの構想と展開 (1) - 支援した父親グループの特徴と活動内容との関連 -	矢本洋子・清水里美・馬見塚珠生・平野仁弥・ <u>原口喜充</u> ・小川将司	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会 (兵庫教育大学)	—
国内学会	父親への子育て支援プロジェクトの構想と展開 (2) - 学生ボランティアの「父親イメージ」の変容プロセス -	平野仁弥・ <u>原口喜充</u> ・小川将司・矢本洋子・清水里美・馬見塚珠生	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会 (兵庫教育大学)	—
国内学会	父親への子育て支援を考える - 父親ネットワークづくりと次世代育成 -	清水里美・馬見塚珠生・小崎恭弘・ <u>原口喜充</u>	201505	日本保育学会第 68 回大会 (相山女学園大学)	—

学生氏名	平野 仁弥	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	ユングの宗教性から捉えたスピリチュアリティ	平野仁弥	201602	大阪大学人間科学研究科心理教育相談室紀要 21, 56-64.	○
国内学会	父親への子育て支援プロジェクトの構想と展開 (2) - 学生ボランティアの「父親イメージ」の変容プロセス -	平野仁弥・原口喜充・小川将司・矢本洋子・清水里美・馬見塚珠生	201509	第 34 回日本心理臨床学会秋季大会	—
国内学会	父親への子育て支援プロジェクトの構想と展開 (1) - 支援した父親グループの特徴と活動内容との関連 -	矢本洋子・清水里美・馬見塚珠生・ <u>平野仁弥</u> ・原口喜充・小川将司	201509	第 34 回日本心理臨床学会秋季大会	—

指導教員	井村 修	講座/研究分野	臨床心理学
------	------	---------	-------

学生氏名	原田 真之介	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	クライアントの視点で見る臨床動作法における好感的援助と嫌悪感的援助	原田真之介・照田恵理	201510	リハビリテーション心理学研究,41,1,55-66.	○
国内学会	臨床動作法におけるクライアントの被援助体験—好感・嫌悪感を抱く被援助体験の因子分析—	原田真之介・照田恵理・渡邊容子	201510	日本臨床動作学会第23回学術大会(愛知)	—
国内学会	描画テストで見る臨床動作法による心理的变化(バウムテストとDAPテストからの考察)	原田真之介・照田恵理・細井菜都子	201511	日本リハビリテーション心理学会学術大会(大分)	—
国内学会	動作努力評定尺度(項目作成に向けたKJ法の実施)	照田恵理・原田真之介・上床幸太・長山卓弘	201511	日本リハビリテーション心理学会学術大会2015(大分)	—
著書	When Immovable Bodies Start to Move - Dohsa-hou for Children with Cerebral Palsy	Harada S.	201603	Introduction to Dohsa-hou - An Integrated Japanese Body - Mind Therapy,18-26.	—
著書	Dohsa-hou Camps and Monthly Meetings in Japan	Teruta E. & Harada S.	201603	Introduction to Dohsa-hou - An Integrated Japanese Body - Mind Therapy,73-80.	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201511	原田真之介・照田恵理	学会奨励賞	日本リハビリテーション心理学会

学生氏名	新垣 ほのか	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Disturbance of time orientation, attention, and verbal memory in amnesic patients with confabulation.	Shingaki H, Park P, Ueda K, Murai T, Tsukiura T.	印刷中	Journal of Clinical and Experimental Neuropsychology, 38, 2, 171-182	○
国内学会	DMD/BMDにおけるADHD傾向評価法の予備的検討.	新垣ほのか, 榎本聖香, 井村修, 藤野陽生, 松村剛, 齊藤利雄, 藤村晴俊	201505	第57回日本小児神経学会学術集会(大阪)	○
国内学会	筋強直性ジストロフィー患者の社会生活困難と認知機能の関連についての検討	藤野陽生, 新垣ほのか, 榎本聖香, 大野真紀子, 松村剛, 齊藤利雄, 藤村晴俊, 井村修	201510	第2回筋ジストロフィー医療研究会	—

学生氏名	渡邊 容子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	臨床動作法におけるクライアントの被援助体験—好感・嫌悪感を抱く被援助体験の因子分析—	原田真之介・照田恵理・渡邊容子	201510	日本臨床動作学会第23回学術大会(愛知学院大学)	—

学生氏名	上床 幸太	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	動作努力評定尺度の開発——項目作成に向けたKJ法の実施	照田恵理・原田真之介・上床幸太・長山卓弘	201511	第41回日本リハビリテーション心理学会学術大会	—

指導教員	佐々木 淳	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	竹田 剛	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	神経性過食症患者の自己概念を包括的に理解するためのモデルの作成	竹田剛	201603	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要,21	—
学術論文 (その他)	神経性過食症患者に対する自尊感情向上のための集団療法の量的評価	竹田剛・佐々木淳	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要,42,273-290	—
学術論文 (その他)	神経性過食症患者に対する自尊感情向上のための集団療法の質的評価	竹田剛・佐々木淳	201603	大阪大学教育学年報,20	—
国内学会	摂食障害におけるトータルケアシステムの実践・有効な摂食障害治療についての再考(1)-	竹田剛・木川恵理・坂本早彩・武久千夏	201509	日本心理臨床学会第34回秋季大会	—
国内学会	神経性過食症患者のパーソナリティ傾向と自尊感情の関係性	竹田剛・武久千夏・木川恵理・高橋美智子・岡村心平・筒井優介・新宅可奈子・生野照子	201510	第19回日本摂食障害学会・学術集会	—

学生氏名	照田 恵理	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	クライアントの視点で見る臨床動作法における好感的援助と嫌悪感的援助	原田真之介・ <u>照田恵理</u>	201510	リハビリテーション心理学研究, 41, 1, 55-64	○
国内学会	臨床動作法におけるクライアントの被援助体験—好感・嫌悪感を抱く被援助体験の因子分析—	原田真之介・ <u>照田恵理</u> ・渡辺容子	201510	日本臨床動作学会第 23 回学術大会 (愛知)	—
国内学会	描画テストで見る臨床動作法による心理的变化 (バウムテストと DAP テストからの考察)	原田真之介・ <u>照田恵理</u> ・細井菜都子	201511	日本リハビリテーション心理学会学術大会 2015 (大分)	—
国内学会	動作努力評定尺度の開発 (項目作成に向けた KJ 法の実施)	<u>照田恵理</u> ・原田真之介・上床幸太・長山卓弘	201511	日本リハビリテーション心理学会学術大会 2015 (大分)	—
著書	Chapter3 「When We Share Each Other's Worlds-Dohsa-hou for Children with Autism」	Teruta E.	201603	「Introduction to Dohsa-hou An Integrated Japanese Body-Mind Therapy」,Osaka University Graduate School of Human Sciences,35-44	—
著書	Chapter5.1 「Dohsa-hou Camps and Monthly Meetings in Japan」	Harada S. & <u>Teruta E.</u>	201603	「Introduction to Dohsa-hou An Integrated Japanese Body-Mind Therapy」,Osaka University Graduate School of Human Sciences,73-80	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201511	原田真之介・ <u>照田恵理</u>	日本リハビリテーション心理学会奨励賞	日本リハビリテーション心理学会

学生氏名	小川 将司	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	青年期におけるキャラの形成と自己の在り方をめぐる葛藤過程 —過剰適応と自己複雑性の観点から—	小川将司・佐々木淳	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会	—
国内学会	父親への子育て支援プロジェクトの構想と展開(1) —支援した父親グループの特徴と活動内容との関連—	矢本洋子・清水里美・馬見塚珠生・平野仁弥・原口喜充・ <u>小川将司</u>	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会(ポスター発表)	—
国内学会	父親への子育て支援プロジェクトの構想と展開(2) —学生ボランティアの「父親イメージ」の変容プロセス—	平野仁弥・原口喜充・ <u>小川将司</u> ・矢本洋子・清水里美・馬見塚珠生	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会(ポスター発表)	—

学生氏名	村中 誠司	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	社交不安喚起後の自己関連づけと反すうおよび省察との関連の検討	<u>村中誠司</u> ・佐々木淳	201602	第 8 回日本不安症学会学術大会	—

学生氏名	壺内 悠伊	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	糸通しによるマインドフルネス・エクササイズが時間切迫場面における運動パフォーマンスに及ぼす効果	<u>壺内悠伊</u> ・武藤崇・佐々木淳	201509	日本心理学会第 79 回大会	—

指導教員	野村 晴夫	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	二瓶 (土井) 裕貴	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	対人援助職従事者における精神的な疲労とその対処について—保育士 A における日誌調査の事例分析より—	土井裕貴	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季学会	○
国際会議 (proc.あり)	精神的な疲労のメカニズムを多面的にとらえる試み—保育士 A のバーンアウト予防に向けて—	土井裕貴	201509	国際混合研究法アジア地域会議・第 1 回日本混合研究法学会	○
著書	Chapter2 When Genes Imbalance Does Not Matter- Dousa-hou for Children with Down syndrome (pp28-36)	編者 Velizara Chervenkova.,and Osamu Imura.共同著者 Eri Teruta, Haruo Fujino, Shinnosuke Harada, <u>Yuki Nihei</u> , Yumiko Hibi.	印刷中	Introduction to Dohsa-hou —An Integrated Japanese Body-Mind Therapy, Osaka University	—

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201601	土井裕貴	ポスターセッション参加報告	日本混合研究法学会ニュースレター

学生氏名	松村 江里香	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	自伝的記憶における時間感覚の構造—過去の出来事までの時間感覚に関する各概念間の関連の検討—	松村江里香	201602	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要, 21, pp.68-72	○
国内学会	自伝的記憶における主観的時間の適応機能—大学新入生における大学環境への適応感と高校時代の「過去化」との関連—	松村江里香・野村晴夫	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会(神戸)	○

指導教員	小野田 正利	講座/研究分野	教育制度学
------	--------	---------	-------

学生氏名	佐藤 晴雄	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	地域との連携をどう見直すか：地域連携による生徒指導の新たな視点	佐藤晴雄	201511	教職研修	—
学術論文(その他)	学校を元気にするコミュニティ・スクール(10) —校長のガバナンスの認識—	佐藤晴雄	201509	季刊教育法	—
学術論文(その他)	最新版 保護者対応	佐藤晴雄	201603	教職研修	—
学術論文(その他)	子どもの塾通いと学校教育	佐藤晴雄	201505	教育展望	—
著書	生涯学習概論—第一次改訂版—	佐藤晴雄	201603	学陽書房	—

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201511	佐藤 晴雄	土下座を要求されたら…保護者のクレーム対処本	読売新聞
201601	佐藤 晴雄	滋賀版—大津市はいま…『地域の目』対応深める	産経新聞

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201505	佐藤晴雄	文部科学省委託調査研究	文部科学省

学生氏名	前田 裕介	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	学生参加型 FD に関する学生の認識	前田裕介	201511	大学養育学会誌/大学教育学会	○
国際会議(proc.あり)	Current Situation and Challenges of Student Participation in Japanese Universities	Yusuke MAEDA, Kazunori EDAMIRO, Yutaka OHARA	201509	The 8th International Conference on Educational Research 2015	○
国際会議(proc.あり)	Design of CSCL on Trial Lesson in Mathematics Teacher Training: Using Smart Devices	Yutaka OHARA, Yusuke MAEDA	201509	The 8th International Conference on Educational Research 2015	○
国際会議(proc.あり)	Exploring Tablet PC in Elementary classroom: Focus on Teachers' Perceptions	Ryuta TANI, Yusuke MAEDA, Yutaka OHARA	201509	The 8th International Conference on Educational Research 2015	○
国際会議(proc.あり)	A Qualitative Study on Effect of Diagonal Dyadic ('Naname') Relationships during Adolescence in 'Ibashi (the person who eases your mind)': using with ethnography method and TEA (Trajectory Equifinality Approach)	Kazunori EDAMIRO, Yusuke MAEDA	201509	The 8th International Conference on Educational Research 2015	○

指導教員	園山 大祐	講座/研究分野	教育制度学
------	-------	---------	-------

学生氏名	西澤 歩未	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
報告書(大学/研究所等)	「気仙沼フィールドワーク つながりの『広がり』」	金夏琳、増田智香、西澤歩未、岡本かおり、査凌	201603	『未来共生プログラム 東日本大震災被災地復興フィールドワーク報告書』第3巻	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201509	西澤歩未	独創的な教育研究活動経費	大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム

指導教員	山本 ベバリー・アン	講座/研究分野	生涯教育学
------	------------	---------	-------

学生氏名	北野 知佳	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	An exploration of how Japanese students' national identity is (re)constructed in relation to the ethnic identities that they encounter when studying abroad in the UK	北野知佳	201504	Anthology of Japan in Japan	—

学生氏名	GYENES ADAM	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	Internationalization and the "International Community Plaza" on Shin Matsudo Campus: The Establishment and first year of the ICP	Adam Gyenes	201510	流通経済大学社会学部論叢	—
国際会議 (proc.あり)	Critical Thinking and the Internationalization of Japanese Universities: The Impact of Critical Thinking Courses in International Undergraduate Degree Programs	Adam Gyenes	201503	CIES Vancouver Canada	○
国際会議 (proc.あり)	Open-access Communication Spaces on University Campuses	Adam Gyenes	201511	JALT International Conference 2015 (Japan Association of Language Teachers)	—
国際会議 (proc.あり)	Mapping the IB Learner Profile to Japanese Competencies: Ikiru-Chikara, Shakaijin-Kisouryoku, Gakushi-Ryoku and the IB Learner Profile	Adam Gyenes	201603	CIES Vancouver Canada	○
報告書(大学/研究所等)	Implementation and Impact of the IB Dual Language Diploma Program in Japanese Secondary Schools- Interim Report	Beverley Anne Yamamoto ed., Takahiro Saito, Maki Shibuya, Yukiko Ishikura, Mari Tsugawa, <u>Adam Gyenes</u> , Viktoriya Kim, Yujichiro Wajima, Kim Mawer, Chika Kitano	201503	International Baccalaureate Organization	○
報告書(大学/研究所等)	Implementation and Impact of the IB Dual Language Diploma- Final Report	Beverley Anne Yamamoto ed., Takahiro Saito, Maki Shibuya, Yukiko Ishikura, Mari Tsugawa, <u>Adam Gyenes</u> , Viktoriya Kim, Yujichiro Wajima, Kim Mawer, Chika Kitano	in press	International Baccalaureate Organization	○

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201603	Adam Gyenes	New Scholars Merit Award	CIES

学生氏名	中野 瑠美子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	Communication Competence and Interest in Learning English - Exploratory survey on the aspect of personal traits	Rumiko NAKANO	201508	日本パーソナリティ心理学会	—
国際会議 (proc.なし)	Pedagogical Meanings of Providing Information in Idiom Teaching for Crossing the Boundaries of Communication	Rumiko NAKANO	201510	International Academic Forum (Asian Conference on Education)	○

学生氏名	RAKSHANDEHROO MAHBOUBEH	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	English-Medium Instruction Support for International Students in Japan: A Case Study of Iranian Students	Mahboubeh Rakhshandehroo	201504	AJJ (Antropology of Japan in Japan)	—
国内学会	English-Medium Instruction Support for International Students in Japan: A Case Study of Iranian Students	Mahboubeh Rakhshandehroo	201508	74th annual conference of JERA (Japanese Educational Research Association)	—

学生氏名	金 夏琳	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
報告書(大学/研究所等)	東北フィールドワーク報告書／気仙沼班	金夏琳、岡本かおり、西澤あゆみ、増田智香、査凌	201601	大阪大学未来戦略機構第5部門未来共生イノベーター	○

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201510	KIM HALIM	理工学図書館 TA Facebook 始めました	大阪大学付属図書館報

指導教員	木村 涼子	講座/研究分野	生涯教育学
------	-------	---------	-------

学生氏名	山根 絵美	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	ドイツにおけるイスラーム宗教教育の展開とその社会的背景に関する一考察	山根絵美	印刷中	大阪大学教育学年報	○

学生氏名	藤根 雅之	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	オルタナティブスクールの組織間ネットワークと市民的公共性	藤根雅之	201506	社会教育学研究	○
学術論文(その他)	オルタナティブスクールの現状と課題	藤根雅之・橋本あかね	印刷中	教育学年報	—
国内学会	オルタナティブスクールのネットワークにおける連携の概念分析	藤根雅之	201505	関西社会学会	—
国内学会	フリースクールにおける「学習」とその支援	藤根雅之	201507	日本子ども社会学会	—
国内学会	オルタナティブスクールの現状と課題	藤根雅之・橋本あかね	201509	日本教育社会学会	—

学生氏名	田中 稜	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	「多文化共生」のディスコース分析	田中稜	201511	多文化関係学会第14回年次大会(岡山大学)	—

指導教員	志水 宏吉	講座/研究分野	教育文化学
------	-------	---------	-------

学生氏名	上田 勝江	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	職業教育機関としての専門学校の変容	上田勝江	201509	2015年日本教育社会学会第67回	—

学生氏名	志田 未来	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	不安定家庭出身生徒を支える学校の検討	志田未来	201509	日本教育社会学会	—
国内学会	なぜ、どのように論文を書くのか	上原健太郎・志田未来	201509	日本教育社会学会	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	志田未来	平成27年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	末岡 加奈子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(学会誌)	英語圏サブサハラアフリカ諸国における「遺伝リテラシー」の意義 ― 人類の起源 アフリカにおける「いのちの教育」の観点から	ソロモン・サルフォ, 末岡加奈子	201505	生物の科学「遺伝」	○
国際会議(proc.あり)	School-Family Partnership for Tackling the Disadvantages of Low SES Children : Implications from the Dutch case	Kanako SUEOKA	201508	ERNAPE-ARCTIC 2015: 10th ERNAPE International Conference (European Research Network about Parents in Education)	○

報告書(大学/研究所等)	Tackling the educational disadvantages of low SES children from the perspective of School-Family partnership: Viewed from the croospoint of immigration policy and educational policy in EU countries	Kanako SUEOKA	201504	EUIJ 関西	—
--------------	---	---------------	--------	---------	---

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201508	末岡加奈子	大学院学生国際学会海外派遣支援金	大阪大学 人間科学研究科
201602	末岡加奈子	学部生・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	大阪大学 人間科学研究科

学生氏名	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学生氏名		薮田 直子	学年	DC3		
論文分類		書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)		地域における外国人の子どもの教育支援の実践的課題- 神戸の地域学習支援活動を通して-	薮田直子	201503	神戸親和女子大学国際教育研究センター紀要, 2015, 創刊号, pp.83-93.	—
国内学会		在日ベトナム青年の名乗りとエスニック・アイデンティティ	薮田直子	201509	日本教育社会学会第 67 回大会	—
発表 (その他)		在日外国人のなまえとエスニック・アイデンティティー学校と地域の現場から	薮田直子	201602	特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター主催「長田研究会」講師として	—

学生氏名	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学生氏名		鍛冶 直紀	学年	DC2		
論文分類		書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会		新自由主義的改革と学校—大阪のある学校の事例から—	鍛冶直紀	201509	日本教育社会学会	—
発表 (その他)		意見形成力を育てる「現代社会」の授業	鍛冶直紀	201603	第 3 回 シティズンシップ教育ミーティング	—

学生氏名	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学生氏名		野崎 友花	学年	DC2		
論文分類		書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会		中学校女性教師のジェンダー・ストラテジー	野崎友花	201509	日本教育社会学会 (駒澤大学)	—
報告書(大学/研究所等)		子どもの進路意識	野崎友花	201601	平成 27 年度尼崎市学力・生活実態調査報告書, 第 9 章 pp131-144.	—

学生氏名	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学生氏名		二羽 泰子	学年	DC2		
論文分類		書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)		マイノリティに非排除的な学校への変容—制度と学校文化の視角から	二羽泰子	201511	教育社会学研究第 97 集	○
学術論文 (学会誌)		「差異のジレンマ」を乗り越える学校教育の実践	二羽泰子	201603	解放社会学研究 29 卷	○
国内学会		何のための包摂なのか	二羽泰子	201509	教育社会学会	—
国内学会		マイノリティの差異と差別問題	二羽泰子	201509	解放社会学会	—
国際会議 (proc.あり)		Inclusive Education under Collectivistic Culture	Futaba, Yasuko	201507	Inclusive and Supportive Education Congress	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201506	二羽泰子	サフラン賞	視覚障害者支援総合センター

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201507	二羽泰子	国際会議派遣支援助成	大阪大学人間科学研究科教育改革推進室

学生氏名	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学生氏名		川畑 和久	学年	DC1		
論文分類		書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会		地域ぐるみで子どもを包摂する教育のいとなみ	川畑和久	201509	日本教育学会第 74 回大会 (お茶の水女子大学)	—
国内学会		「人権のまちづくり」の地域的形成	川畑和久	201509	日本教育社会学会第 67 回大会 (駒澤大学)	—
発表 (その他)		田川市の学力保障に関する一考察	川畑和久	201508	第 28 回田川市人権同和教育研究大会全体講演 (田川青少年文化ホール)	—
発表 (その他)		福岡県田川市立金川小学校教育コミュニティづくりについて	川畑和久、上野裕一朗	201509	第 15 回学校づくり研究会 (大阪大学中之島センター)	—
発表 (その他)		福岡県田川市立金川校区の学力保障の取り組み	川畑和久、上野裕一朗、満倉圭	201512	平成 27 年度京都市「効果のある学校」推進事業 (京都市)	—

報告書(大学/研究所等)	平成 27 年度尼崎市小中学校学力・生活実態調査報告書 第Ⅲ部 意識と学力	川畑和久、野崎友花、山本暁	201512	平成 27 年度尼崎市小中学校学力・生活実態調査報告書	—
--------------	---------------------------------------	---------------	--------	-----------------------------	---

学生氏名	金南 咲季	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	「場所への愛 (Topophilia)」から紡ぐ対話可能性—多文化混淆地域における「排除」と「包摂」に着目して	金南咲季	201506	CulturalTyphoon2015 (カルチュラルスタディーズ学会)	○
国内学会	多文化混淆地域における教育課題	金南咲季	201509	第 67 回日本教育社会学会	—
国内学会	多文化混交地域における「共生」の複合的展開	金南咲季	201509	第 88 回日本社会学会	○
発表 (その他)	コンタクト・ゾーンにおける「共生」の生成—外国人学校と地域社会の関係構築過程から—	金南咲季	201503	日本文化人類学会近畿地区研究懇談会 2014 年度博士論文・修士論文発表会・国立民族博物館	—
発表 (その他)	2015 年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査 家庭班 (生活習慣・学習週間・家の人のつながり・文化的活動)	志水宏吉, 知念涉, 野崎友花, 川畑和久, 金南咲季, 西徳広, 高田明日香, 山本暁, 数実浩佑, 室田美佳, 今西晋作	201601	2015 年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告会	—
発表 (その他)	2015 年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査 家庭班 (生活習慣・学習週間・家の人のつながり・文化的活動)	志水宏吉, 知念涉, 野崎友花, 川畑和久, 金南咲季, 西徳広, 高田明日香, 山本暁, 数実浩佑, 室田美佳, 今西晋作	201601	第 17 回学校づくり研究会	—
報告書(大学/研究所等)	2015 年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告書	志水宏吉, 知念涉, 野崎友花, 川畑和久, 金南咲季, 西徳広, 高田明日香, 山本暁, 数実浩佑, 室田美佳, 今西晋作	201512	2015 年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告書	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201503	人間科学研究科賞	人間科学研究科賞受賞	大阪大学人間科学研究科

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	金南咲季	平成 27 年度 科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	独立邦人 日本学術振興会

学生氏名	西 徳宏	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	「効果のある学校」の教員文化	西徳宏	201509	学校社会学研究会	—
国内学会	「効果のある学校」の教員文化	西徳宏	201509	日本教育社会学研究会	—
報告書(大学/研究所等)	学校が好きになる働きかけ考察	西徳宏	201512	尼崎市学力向上の 10 年	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	西徳宏	日本学術振興会研究奨励費	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	高田 明日香	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
報告書(大学/研究所等)	平成 27 年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告書	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室	201512	平成 27 年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告書	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201603	高田明日香	プレ・インターンシップ助成	大阪大学 GLOCOL

学生氏名	中村 誠吾	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	教員養成系大学・学部における非教職選択者の学生生活	中村 誠吾	印刷中	教育文化学年報 第 11 号	—

学生氏名	西裏 慎司	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	和文化的継承と地域の「偉人」学習	西裏慎司	201509	平成 27 年度和文化教育学会 (第 12 回全国大会秋田県本荘由利大会)	—

学生氏名	伊藤 駿	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	新しい「学校」の探求	伊藤駿・西澤歩未	201603	『未来共生学』3号	—
学術論文(その他)	志津川小学校避難所記録保存プロジェクト-いかに避難所はつくられ、避難所は人々に何を与えたか-	伊藤駿・梶田智香・堀口安奈・眞浦有希・横木那美	201603	『未来共生学』3号	—
報告書(大学/研究所等)	南三陸班 志津川小学校避難所記録保存プロジェクト いかにして避難所はつくられ、避難所は人々に何を与えたか	伊藤駿・梶田智香・堀口安奈・眞浦有希・横木那美	201601	『東日本大震災被災地復興フィールドワーク報告書』	—
報告書(大学/研究所等)	「食」から見る避難所生活	伊藤駿	201603	『志津川小学校避難所記録保存プロジェクト 最終報告書』	—
報告書(大学/研究所等)	インタビュー記録	山本晃輔・伊藤駿	201603	『志津川小学校避難所記録保存プロジェクト 最終報告書』	—
発表(その他)	障害者差別解消法について	伊藤駿	201511	大阪大学未来戦略機構第五部門「大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム」主催 未来共生セミナー	—
発表(その他)	Inclusive Education in Japan	Shun ITO	201511	The university of Edinburgh における講義において講演	—
発表(その他)	映画「みんなの学校」から学校現場における合理的配慮を考える	伊藤駿・小泉朝未	201512	大阪大学人間科学研究科 大学院学生研究集会	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201507	伊藤駿	独創的教育研究活動経費	大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム
201509	伊藤駿	大学院学生研究集会開催支援金	大阪大学人間科学研究科教育改革推進室

学生氏名	伊藤 莉央	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	外国人児童生徒を教えるということ	伊藤莉央	201603	教育文化学年報	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201508	伊藤莉央	独創的教育研究活動経費	未来共生イノベーター博士課程プログラム

学生氏名	数実 浩佑	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
報告書(大学/研究所等)	子どもの授業態度・教員の取り組みと学力	数実浩佑	201512	平成 27 年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告	—
報告書(大学/研究所等)	社会的排除から見る学力格差	数実浩佑	印刷中	教育文化学年報第 11 号 2015 年度	—

学生氏名	横木 那美	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文(その他)	志津川小学校避難所記録保存プロジェクト-いかにして避難所はつくられ、避難所は人々に何を与えたか-	伊藤駿、梶田智香、堀口安奈、眞浦有希、横木那美	201603	未来共生学	—
報告書(大学/研究所等)	南三陸班 志津川小学校避難所記録保存プロジェクト いかにして避難所はつくられ、避難所は人々に何を与えたか	伊藤駿、梶田智香、堀口安奈、眞浦有希、横木那美	201601	東日本大震災被災地復興フィールドワーク報告書	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201507	横木那美	平成 27 年度 独創的教育研究活動費	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム

指導教員	高田 一宏	講座/研究分野	教育文化学
------	-------	---------	-------

学生氏名	大橋 眞	学年	MC1
------	------	----	-----

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201511	佐藤 晴雄	土下座を要求されたら…保護者のクレーム対処本	読売新聞

2-2-6. グローバル人間学系

グローバル人間学系	在籍者	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	70 名	55 名	78.6 %	27 名	38.6 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	中村 安秀	講座/研究分野	国際協力学
------	-------	---------	-------

学生氏名	小笠原 理恵	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	言語や文化の異なる患者対応における医療通訳のニーズ～大学病院スタッフに対する質問紙調査(第2報)～	小笠原理恵、中村安秀、小笠原祐希子ほか	201506	日本国際保健医療学会東日本地方会	○	
国内学会	『異文化』な祖国での生活～中国帰国者およびその家族の保険・医療・福祉と医療通訳について～	小笠原理恵	201505	日本生活学会	○	
国際会議 (proc.なし)	Needs for Medical Interpreters for Limited Japanese Proficiency Patients in Japan: A quantitative Analysis	Ogasawara R., Nakamura Y., et.al.	201511	143rd American Public Health Association (APHA) Annual Meeting and Expo	○	
著書	中国帰国者の保健医療福祉と医療通訳 (Part4 の10)	小笠原 理恵	201508	李節子編『医療通訳と保健医療福祉～すべての人への安全と安心のために～』(杏林書院)	—	
著書	配慮すべき医療の違い～国境ある医療のこと～ (第2部の15)	小笠原 理恵	201510	連利博、村松紀子編 『実践 医療通訳』(松柏社)	—	

学生氏名	渡邊 智子	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文 (学会誌)	The effects of South-South cooperation in HIV/AIDS: A case study of the support from Thailand to Uganda.	Watanabe T, Nakamura Y.	印刷中	国立民族博物館機関誌 (SER)	○	
国内学会	ウガンダの子どもと保健医療.	渡邊智子	201507	国際開発セミナーシリーズ: アフリカの 子どもの生活・保健医療と教育-, 大阪大 学人間科学研究科グローバル人間学系主 催&日本アフリカ学会関西支部共催	—	
国際会議 (proc.あり)	The First Clinic for the High-risk People of HIV/AIDS and Sexually Transmitted Disease in Uganda: Gap between Human Rights.	Watanabe T, Nakamura Y.	201509	Medical Practices and Law. International Symposium ” How Biomedicines Shape Life, Sociality and Landscape in Africa” , National Museum of Ethnology at Osaka.	○	
発表 (その他)	The effects of South-South cooperation in HIV/AIDS: A case study of the support from Thailand to Uganda.	渡邊智子	201512	タイ・クリスチャン大学学生交流セミナ ー, 大阪大学人間科学研究科グローバル 人間学系主催	—	
報告書(大学/ 研究所等)	9th European Congress on Tropical Medicine and International Health at Basel, Switzerland について開催概要報告書.	渡邊智子	201511	日本国際保健医療学会調査報告書	—	

学生氏名	木村 暁	学年	DC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
研究ノート	偽造医薬品問題における IMPACT の設置とその限界に関する考察	木村 暁	印刷中	大阪大学大学院人間科学研究科グローバル人間開発学紀要	○	
発表 (その他)	インド製医薬品の品質の信頼性と流通システムについての調査	木村 暁	201511	国際保健医療学会 (金沢)	○	

学生氏名	野村 幸恵	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
国内学会	元子ども兵の社会復帰と地域住民の葛藤	野村幸恵	201602	国際ボランティア学会	—	

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201602	野村幸恵	優秀発表賞	国際ボランティア学会

学生氏名	彌吉 恵子	学年	MC2
------	-------	----	-----

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201511	彌吉恵子	海外プレ・インターンシップ	大阪大学グローバルコラボレーションセンター

指導教員	澤村 信英	講座/研究分野	国際協力学
------	-------	---------	-------

学生氏名	井ノロ 一善	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	地方分権化政策が生み出す新たな教育格差— 南アフリカの事例に基づいて—	井ノロ一善	201510	アフリカ研究自主セミナー (関西大学)	—

学生氏名	日下部 光	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	マラウイにおける孤児の生活と就学—中等教育の就学継続にかかる事例—	日下部光	201508	比較教育学研究	○
学術論文 (学会誌)	マラウイの中等学校における孤児の就学を支える仕組み—NGO による支援と学校の取組みに着目して—	日下部光	201602	ボランティア学研究	○
学術論文 (学会誌)	マラウイの中等学校における孤児の就学の意味—困難な状況下での人々の支え合いに着目して—	日下部光	201603	未来共生学	○
国内学会	マラウイの中等学校における孤児の就学を支える取組み—奨学金プログラムに着目して—	日下部光	201504	アフリカ教育研究フォーラム (第 15 回)	—
国内学会	マラウイの中等学校における孤児への就学支援の事例—学校や教師の取組みに着目して—	日下部光	201506	日本比較教育学会 (第 51 回大会)	—
国内学会	マラウイの中等学校における孤児就学の実態と意味—生徒、教師へのインタビューを中心として—	日下部光	201506	日本比較教育学会 (第 51 回大会)	—
国内学会	マラウイの中等学校における遺児の就学の実態と意味—困難な状況下での人々の支え合い—	日下部光	201602	国際ボランティア学会 (第 17 回大会)	—
国際会議 (proc.あり)	Schooling of Orphans and Their Lives in Malawi: A Case of Secondary Education	日下部光	201506	International Council on Education for Teaching 2015	—

学生氏名	山本 香	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	トルコにおけるシリア難民による学校運営—教職員の視点からみた学校の役割—	山本 香・澤村信英	201506	国際開発研究, 24, 1.	○
学術論文 (学会誌)	教育からみるシリア難民の生活とコミュニティ—トルコおよびヨーロッパにおける社会関係資本の比較—	山本 香	201512	難民研究ジャーナル, 5.	○
学術論文 (学会誌)	ケニア共和国キベラ・スラムにおける低学費私立校の役割—教員と保護者の生活者としての視点から—	山本 香	201512	アフリカ教育研究, 6.	○
学術論文 (学会誌)	紛争の影響下にある子どもの教育機会の保障—シリア難民がトルコで運営する学校の事例から—	山本 香	印刷中	未来共生学, 3.	○
国内学会	スラムにおける学校運営の現状と役割—ケニア共和国キベラの教師、生徒、保護者が持つ生活者としての視点から—	山本 香	201504	アフリカ教育研究フォーラム (広島大学)	—
国内学会	ケニア共和国キベラ・スラムにおける教育施設の運営実態—ノンフォーマル学校の事例を中心として—	澤村信英・山本 香	201505	日本アフリカ学会 (大山国際観光センターフロイデ)	○
国内学会	シリア難民による学校運営の動向—トルコ南東部シリア国境地域の事例から—	山本 香	201506	日本比較教育学会 (宇都宮大学)	—
国内学会	紛争下におけるシリア人生徒の就学の意味—トルコで暮らす難民が運営する学校を事例に—	山本 香	201506	日本比較教育学会 (宇都宮大学)	—
国内学会	ケニア共和国キベラ・スラムに暮らす子どもの就学—公教育を支える無認可学校の実態—	澤村信英・山本 香	201506	日本比較教育学会 (宇都宮大学)	—
国内学会	都市難民による自主的 school 運営の諸相—トルコのシリア人とイランのアフガニスタン人の事例—	山本 香・朝隈芽生・澤村信英	201506	国際教育研究フォーラム (京都女子大学)	—
国内学会	ケニア・ナイロビにおける無認可私立校の役割—スラムの生活者がつくる教育機会—	澤村信英・山本 香	201510	アフリカ教育研究フォーラム (東京大学)	—
国内学会	都市で暮らす難民による学校経営の動態と役割—トルコにおけるシリア人生徒の就学に着目して—	山本 香	201511	国際開発学会 (新潟大学)	○
国内学会	教育からみるシリア難民のコミュニティ比較—トルコおよび欧州において獲得された社会関係資本—	山本 香	201602	国際ボランティア学会 (久留米大学)	—
国際会議 (proc.あり)	Conflict-affected Children and the Roles of Schooling: A Case Study of Syrian-managed Schools in Turkey	山本 香	201506	The International Council on Education for Teaching (Naruto University of Education)	○

国際会議 (proc. あり)	How and Why Do Syrian Refugees Maintain Their Schools in Turkey? Understanding the Particular Role of Schooling under Conflict	山本 香	201509	UKFIET The Education and Development Forum (University of Oxford)	○
国際会議 (proc. あり)	Confronting Educational Barriers to Refugee Children in Conflict Situations: An Autonomous Schooling System of Syrians in Turkey	山本 香	201601	The Comparative Education Society of Asia (De La Salle University)	○
国際会議 (proc. あり)	Establishing Managing an Alternative Education System by Syrian Refugees in Turkey: What Makes Refugee-run Schools Operational in Non-camp Settings?	山本 香	201603	Comparative and International Education Society (Sheraton Vancouver Wall Centre)	○
発表 (その他)	トルコに越境するシリアの学校—難民となった子ども、教師、その家族とのフィールドワーク—	山本 香	201510	グローバル人間学研究会 (大阪大学)	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	山本 香	科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 特別研究員奨励費	日本学術振興会

学生氏名	朝隈 芽生	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	イランにおけるアフガニスタン難民の社会的排除と包摂の諸相	朝隈芽生	201511	国際開発学会第 26 回全国大会 (新潟大学)	○
国内学会	イランにおけるアフガニスタン難民の学校運営	朝隈芽生	201602	国際ボランティア学会第 17 回大会 (久留米大学)	○
発表 (その他)	長期化する難民状態にある人々と「居場所」の創出	朝隈芽生	201504	第 15 回アフリカ教育研究フォーラム	—
発表 (その他)	都市難民による自主的 school 運営の諸相	山本香・朝隈芽生・澤村信英	201506	平成 27 年国際教育研究フォーラム	—
発表 (その他)	イランにおけるアフガニスタン難民の社会的排除と包摂	朝隈芽生	201507	第 46 回アジア教育研究会	—
発表 (その他)	イランにおけるアフガニスタン難民の教育と将来決定	朝隈芽生・山本香	201512	イランにおけるアフガニスタン難民の教育と将来決定	—
発表 (その他)	イランにおけるアフガニスタン難民の主体的学校運営	朝隈芽生	201601	第 45 回関西イラン研究会	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201504	朝隈芽生	優秀発表賞	アフリカ教育研究フォーラム

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201507	朝隈芽生	第三回若手難民研究奨励賞	難民研究フォーラム

学生氏名	小川 未空	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	ケニアにおける中等教育の普及と就学継続の意味—生徒の視点からみた学校の役割—	小川未空	201512	アフリカ教育研究、6 巻	○
国内学会	How Do Adolescents Decide to Continue/Discontinue Secondary Education in Kenya? From Their Perspective on Schooling	Ogawa, M.	201504	第 15 回アフリカ教育研究フォーラム	—
国内学会	ケニアにおいて中等学校に就学する意味—生徒、保護者、地域住民の視点から—	小川未空	201506	第 51 回比較教育学会	—
国内学会	ケニア農村部における学校教育の普及が家族にもたらす影響—就学継続の選択に着目して—	小川未空	201510	第 16 回アフリカ教育研究フォーラム	—
国内学会	ケニア農村部における学校教育と家族福祉—戦略的な教育投資に着目して—	小川未空	201511	第 26 回国際開発学会全国大会	○
国際会議 (proc. あり)	What Motivates Secondary Schooling in Kenya? A Case Study in Busia County	Ogawa, M.	201506	59th The International Council on Education for Teaching, Naruto University of Education	○
発表 (その他)	ケニアの中等学校における就学継続の実態と意味—農村部でのフィールドワークから—	小川未空	201510	第 21 回グローバル人間学研究会	—

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201510	小川未空	第 16 回アフリカ教育研究フォーラム 優秀発表賞	アフリカ教育研究フォーラム

学生氏名	北川 香織	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	ルワンダにおける教授言語変更後の学校教育 一公立初等学校で働く教員の視点から一	北川香織	201502	アフリカ教育研究	○

○受賞

受賞年月	受賞者名	賞名	授与団体名
201504	北川 香織	優秀研究発表賞	アフリカ教育研究フォーラム

学生氏名	宋 柔奈	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	韓国の開発援助に及ぼす宗教の影響ーキリスト教 NGO 団体の活動に着目して	宋柔奈	201511	国際開発学会第 26 回全国大会 (新潟)	—

指導教員	岡田 千あき	講座/研究分野	国際社会開発論
------	--------	---------	---------

学生氏名	佐野 万里恵	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	GLOCOL フィールドスタディ	赤坂直人、 <u>佐野万里恵</u>	201505	東ティモールについて語り合う フィールドスタディ報告会	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201511	佐野 万里恵	平成 27 年度第 2 回大阪大学未来基金グローバル化推進事業「研究留学助成金」	大阪大学教育推進部学生交流推進課学生交流推進係

指導教員	千葉 泉	講座/研究分野	多文化共生社会論
------	------	---------	----------

学生氏名	尾垣 都紀子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	ろう児童・生徒の言語習得における手話使用の意義 ー日本語助詞と英語前置詞の分析を通してー	尾垣 都紀子	印刷中	グローバル人間学紀要	○
国際会議 (proc.あり)	ろう児の言語習得に関する一研究 ー日本語助詞と英語前置詞の分析ー	尾垣 都紀子	201507	言語科学会第 17 回年次国際大会	—

学生氏名	金 憲祐	学年	DC3
------	------	----	-----

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201503	金 憲祐	研究留学助成金	大阪大学未来基金グローバル化推進事業

学生氏名	額田 有美	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	El perito cultural como traductor cultural: análisis cualitativo del peritaje cultural en Costa Rica	Nukada Yumi	201506	ラテンアメリカ研究年報, No.35, pp.107-142.	○
書評	桜井三枝子・中原篤史編著『ホンジュラスを知るための 60 章』明石書店	額田 有美	201507	いえらっく, vol.29, pp.12-13.	—
国内学会	「先住民裁判」について考える ーコスタリカ先住民プリプリの事例よりー	額田 有美	201504	日本ラテンアメリカ学会西日本部会研究会	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201504	額田 有美	平成 27 年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	独立行政法人 日本学術振興会

学生氏名	桂 悠介	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
発表 (その他)	今日の精霊	桂 悠介	201507	国立民族学博物館、映像人類学研究会(川瀬慈助教授主催)での映像人類学作品の発表。	—

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201507	桂 悠介	・精霊と暮らす人々・ 市民講座の講師を担当。映像人類学作品を発表。	主催：飛田本通商店街振興組合・基礎セミナー『街に出てサイエンスカフェをやってみよう』協賛：大阪大学 21 世紀懐徳堂

指導教員	藤目 ゆき	講座/研究分野	多文化共生社会論
------	-------	---------	----------

学生氏名	熊野 沙織	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	フィリピン政府の「慰安婦」問題への対応	熊野沙織	印刷中	「女性・戦争・人権」学会	○
研究ノート	フィリピン人女性の米軍基地被害に関する一考察—ブラウン少佐事件を中心に—	熊野沙織	印刷中	グローバル人間学紀要	○
翻訳	沖縄への旅 ～「ヘーゼル」の正義を求めて～	ブッチ・ボンガス	201507	アジア現代女性史	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201506	熊野沙織	学部生・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	人間科学研究科 教育改革推進室

指導教員	小林 清治	講座/研究分野	人間環境論
------	-------	---------	-------

学生氏名	佐桑 諒	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	原子力損害賠償制度と一般的利益	佐桑諒	印刷中	グローバル人間学紀要	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201510	橘高彰斗	生活学プロジェクト	生活学会

指導教員	三好 恵真子	講座/研究分野	人間環境論
------	--------	---------	-------

学生氏名	橘高 彰斗	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	ラスキンにおける美の概念とプラグマティズム—パース現象学から見る色彩と形態の相関性—	橘高彰斗・三好恵真子	201602	人間科学研究科紀要	—
国内学会	生活における観察と記号学的膜モデル—パース記号学から見る日常経験の『規範科学』—	橘高彰斗	201505	日本生活学会	—
国内学会	ラスキンの建築論と自然観—パースの現象学を手がかりとして—	橘高彰斗	201507	文化経済学会<日本>	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201510	橘高彰斗	2015 年度生活学プロジェクト	日本生活学会

学生氏名	胡 毓瑜	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	针对脉搏波诊断精神病患者心理特征的技术可靠性的分析以及向中国大力推介的可行性的展望	胡毓瑜・雄山真弓・三好恵真子	201503	大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパーNo.2015-2, pp.1-14	○
学術論文 (その他)	关于渔业资源管理模式的讨论—以舟山市为例	胡毓瑜・三好恵真子	201508	大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー, No.2015-11, pp.1-11.	○
国際会議 (proc.あり)	Nonlinear Analysis of EEG and Pulse Waves & the Changes of Two Signals with Music Stimulation	三好恵真子・胡毓瑜	201509	International Symposium on Rheology (ISR 2015)	○
国際会議 (proc.あり)	Identifying Characteristic Physiological Patterns of Mentally Disease Patients using Analysis of Plethysmograms, and its Applications: Possibility of the applied development as the correspondence method to the mental problem in China	胡毓瑜・三好恵真子	201509	International Symposium on Rheology (ISR 2015)	○
著書	舟山群島新区海域における漁業資源の現状と海洋生態の保護・修復への展望——現行制度や生態系に対する漁民の認識や意見に関する分析	胡毓瑜・三好恵真子	201503	『東アジア“生命健康圏”構築に向けて—大気汚染と健康問題を考える日中国際会議の記録—』OUFCブックレット vol.6	○
著書	脈波におけるカオス解析から判別する精神疾患患者の特徴及び中国における心理問題への応用展開の可能性	三好恵真子・胡毓瑜	201503	『東アジア“生命健康圏”構築に向けて—大気汚染と健康問題を考える日中国際会議の記録—』OUFCブックレット vol.6	○

国内学会	舟山群島新区海域における漁業資源の現状と海洋生態の保護・修復への展望——現行制度・生態状況に対する漁民の認識と漁民の生計に関する分析	胡毓瑜・三好恵真子	201505	第42回日本生活学会総会	—
国際会議 (proc.あり)	舟山漁業資源管理制度的の局限性以及对漁業資源管理模式的の再讨论	胡毓瑜	201512	第九回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境」	○

学生氏名	由本 優子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc.なし)	A STUDY ON THE ASSOCIATION OF LIFESTYLE AND EATING HABIT WITH OVERWEIGHT BY PRESCHOOL CHILDREN IN PROVINCIAL CITY, VIETNAM	Yuko Yoshimoto, Trinh Hong Son, Yoshinori Suminura, and Emako Miyoshi	201505	12th Asian Congress of Nutrition	—

学生氏名	松村 悠子	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	DISCUSSION PAPER Criteria for a Sustainable Transformation towards '100% Renewable Energy': Starting an International Dialogue	Pia Buschmann, Anna Leidreiter, Dag Schulze, Miguel Morcillo, Carsten Kuhn, Peter Moser, Beate Fischer, Lioba, Steven Vanholme, Rainer Hinrichs-Rahlwes, Prof. Eicke Weber, Simon Philipps, Ana Marques and Maryke van Staden, Eric Martinot, <u>Yuko Matsumura</u> , Luis Carlos Gutiérrez-Negrín I, Dave Renne, Betsy Agar, Claire Havens, Gordian Raacke, Jodie Van Horn, Prof. S.C. Bhattacharya, Stefan Schurig, Filippo Boselli, Harry Lehmann, Stefan Gsaenger	201509	Global 100% Renewable Campaign	○
翻訳	第6章 エネルギー効率:自然エネルギーとの対の柱	山下紀明、前薗みのり、池田実央、因幡拓興、加志村拓、勝野真之、黒木俊作、小林由美、Sam Trippe、白幡真澄、Jinyoung PARK、鈴木美紗、須田瑞穂、早出彩、高橋叶、辺見怜、 <u>松村悠子</u> 、三國志成、宮本隆志	201512	自然エネルギー世界白書 2015 日本語版	○

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201507	松村悠子	大阪大学博士課程教育リーディングプログラム独創的教育研究活動経費	大阪大学未来戦略機構第一部門 超域イノベーション博士課程プログラム

学生氏名	西川 優花	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	イラン・ヴァルザネ市における水危機—乾燥地における非地主小作制と生業の持続性からの検討—	西川優花	201603	大阪大学人間科学研究科グローバル人間学紀要	○
国内学会	イラン・ザーヤンデルード川下流域の農村ヴァルザネにおける水危機とそれに直面する人々の暮らし	西川優花	201505	日本生活学会第42回研究発表大会	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
201509	西川優花	大阪大学研究留学助成金	大阪大学未来基金グローバル化推進事業

指導教員	宮原 暁	講座/研究分野	超域地域論
------	------	---------	-------

学生氏名	岡野 翔太	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	日本における台湾同郷組織の成立とそのジレンマ—日華平和条約の締結と終了を起因として	岡野翔太	201603	『現代台湾研究』,第 46 号,	○
国内学会	戦後から日華断交前後における在日台湾人組織の成立—兵庫県台湾同郷会の成立からみる日本華僑社会—	岡野翔太	201507	台湾史研究会	—
国内学会	在日中華民国系華僑団体の再編—新来性に注目して	岡野翔太	201511	日本華僑華人学会	—
国内学会	国際法上二次大戦の結束と台湾地位問題	薛化元(報告)・岡野翔太(通訳)	201601	台湾史研究会	—
国際会議 (proc.あり)	戦後至臺日断交前後に在日臺灣人與華僑的糾結—以兵庫縣臺灣同郷會的成立爲例—	岡野翔太	201508	「台湾與東亞：近代化與社会変遷」	—
国際会議 (proc.なし)	1950-70 年代に在日華僑社会における国府系華僑總會の役割	岡野翔太	201601	「戦後冷戦期における東アジアの華僑社会」	—
発表 (その他)	戦後日本における「新中国」音楽の伝播—台湾出身者と大陸帰還者の交錯	岡野翔太	201602	「東亜學術論壇 2016—交錯する東アジア像」	
著書	「華僑関係参考文献リスト」	岡野翔太	201505	神阪京華僑口述記録研究会編『聞き書き・関西華僑ライフヒストリー』第 6 号, 神戸華僑歴史博物館, Pp230-237	—
著書	「中華料理業から見る華僑」	岡野翔太	201509	吳宏明・高橋晋一編『南京町と神戸華僑』, 松籟社, Pp221-228.	○
その他	越境する台湾の流行歌	岡野翔太	201507	移民社会「台湾」—歴史・文化・経済から捉える— (兵庫大学エクステンションカレッジ)	—

○その他：新聞記事など

年月	氏名	内容	掲載誌紙名
201505	岡野翔太	「神戸と台湾の被災地交流—震災がつむいだ神戸と台湾の絆」	『兵庫県台湾同郷会会報』第 178 号
201505	岡野翔太	「姉妹になった「山陽電車」と「台湾鉄路」—広がる兵庫での日台交流—	『兵庫県台湾同郷会会報』第 178 号
201509	岡野翔太	「菲華歴史博物館(Bathay Tsinoi)を見学して」	『神戸華僑歴史博物館通信』第 24 号
201602	岡野翔太	「「周子瑜事件」に想うこと—台湾・中華民国のジレンマ」	『台湾新聞』第 226 号

学生氏名	曹 臻	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	「クールジャパン戦略」の可能性と限界 — 東アジアにおける若者の意識調査から	曹臻	201507	日本国際文化学会 第 14 回全国大会	○
その他	「クールジャパン戦略」の受け皿—東アジアにおける日本のポップカルチャー受容に対する実態調査	曹臻	201601	学会誌『インターカルチュラル』第 14 号への投稿論文は一次審査を通り、再審査で掲載不可になった。	○

指導教員	大谷 順子	講座/研究分野	地域秩序論
------	-------	---------	-------

学生氏名	高 欣	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
研究ノート	中国四川省北川県におけるディザスターツーリズム開発に関する研究	高欣, 大谷順子	印刷中	『日中社会学研究』	○
国内学会	ディザスターツーリズム発展に関する研究—中国四川省北川県の事例—	高欣, 大谷順子	201511	国際開発学会第 26 回全国大会	—
国際会議 (proc.あり)	Disaster Tourism following the Sichuan Earthquake in China- Case Study of Beichuan	高欣	201511	The 14th APRU Doctoral Students Conference (DSC)	○
国際会議 (proc.なし)	四川大地震後の被災地観光に関する研究	高欣	201506	日中社会学会第 27 回大会	—

学生氏名	孫 佳怡	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	中国の災害ボランティア組織の現状について—四川大地震に設立されたボランティア組織を事例に	孫 佳怡	201506	日中社会学会第 27 回大会 (北海道大学)	—

2-2-7. PDの研究記録

社会学系

指導教員	Robert Scott North	講座/研究分野	文化社会学
------	--------------------	---------	-------

学生氏名	Sharon J. Yoon	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	Glosserman, Brad and Scott A. Snyder (2015) The Japan-South Korean Identity Clash: East Asian Security and the United States, Columbia University Press.	Sharon J. Yoon	2015.06	The Asan Forum	—
書評	Park, Eugene Y. (2014) A Family of No Prominence: The Descendants of Pak Tokhwa and the Birth of Modern Korea, Stanford University Press.	Sharon J. Yoon	2015.12	이화여자대학교 한국문화연구원 (Ewha Womans University, Korean Culture Institute)	—
発表 (その他)	The Intersections of Social Media, Social Activism & Public Policy: Making Sense of the Rise of Hate Speech Protests in Osaka's Korean Enclave.	Sharon J. Yoon	2015.07	Dartmouth-Keio Alumni Talk Series, Keio University	—
発表 (その他)	Korean Diasporas around the World.	Sharon J. Yoon	2015.12	One-Korea Festival, Ritsumeikaikan University	—
発表 (その他)	The Rise of Hate Speech in Osaka's Korean Ghetto.	Sharon J. Yoon	2016.02	Sheffield University	—

人間学系

指導教員	村上 靖彦	講座/研究分野	現代思想
------	-------	---------	------

学生氏名	八幡 恵一	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (その他)	間主観性と形而上学：メルロ＝ポンティ「小説と形而上学」について	八幡恵一	印刷中	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻，年報地域文化研究，第19号	○
学術論文 (その他)	老いと出来事：シャルル・ペギーの歴史哲学	八幡恵一	2016.02	大阪大学大学院人間科学研究科社会学・人間学・人類学研究室，年報人間科学，第37号，pp. 55-70	○
発表 (その他)	間主観性と形而上学：メルロ＝ポンティ「小説と形而上学」について	八幡恵一	2016.02	中央大学人文科学研究所「批判的比較文化研究」チーム公開研究会	—
翻訳	母親と愛人：2000年以後のモディアノ作品における女性像の変化	八幡恵一	2015.04	ロンドン大学准教授アカネ・カワカミ氏が青山学院大学で行った講演の原稿（フランス語）の翻訳	—
翻訳	ロラン・バルトの日常のエクリチュール	八幡恵一	2015.11	ティフェン・サモワイヨ氏が青山学院大学で行った講演の原稿（フランス語）の翻訳	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2015.04	八幡 恵一	平成 27 年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	独立法人 日本学術振興会

学生氏名	長坂 真澄	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	„Verwandlung des Verhältnisses von Möglichkeit und Wirklichkeit: László Tengelyis These über die Grundtendenz der Neuen Phänomenologie in Frankreich “	Masumi Nagasaka	2015.04	Horizon-Studies in Phenomenology, Vol. 3(2), pp. 21-34	○
学術論文 (学会誌)	« La citoyenneté comme calcul de l'incalculable »	Masumi Nagasaka	2015.10	Jean-Michel Counet (dir.), La Citoyenneté. Actes du XXXIVème Congrès de l'Association des Sociétés de Philosophie de langue française (ASPLF). Louvain-la-Neuve / Bruxelles 21-25 août 2012, La Société Philosophique de Louvain, pp. 483-495	○

論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	« Con-tangence et archi-facticité - Jacques Derrida et Didier Franck autour d' Edmund Husserl »	Masumi Nagasaka	2015.11	Interpretationes - Acta Universitatis Carolinae : Studia Philosophica Europeanea, vol. 4(1), pp. 167-185,	○
学術論文 (学会誌)	« Altérité anarchique - Réconciliation de Descartes et Kant dans la dernière pensée d' Emmanuel Levinas »	Masumi Nagasaka	印刷中	Interpretationes - Acta Universitatis Carolinae : Studia Philosophica Europeanea	○
学術論文 (学会誌)	« Derrida et la notion d' « im-possible » - dans la continuité de Chestov et Levinas »	Masumi Nagasaka	印刷中	Actes du XXXVème Congrès de l'Association des Sociétés de Philosophie de langue française (ASPLF)	○
学術論文 (その他)	「『存在』の語を抹消する交差線—差延：デリダの『ハイデガー』講義（1964-1965）より」	長坂真澄	2015.12	『京都大学文学部宗教学研究紀要』No. 12, pp. 62-79	○
書評	「小手川正二郎著『甦るレヴィナス—『全体性と無限』読解』書評」	長坂真澄	2015.04	週刊読書人（3087）4	—
国際会議 (proc.なし)	« Primat donné à la dialectique transcendante sur l' esthétique transcendante - Emmanuel Levinas contre Kant et le problème de la métaphysique »	Masumi Nagasaka	2015.07	Colloque international de Philosophie : Représentation et Altérité - Esthétique et Epistémologie à partir d' Emmanuel Levinas (SIREL)	○
国際会議 (proc.なし)	« Penser avec Levinas une forme possible de critique du pouvoir politique »	Masumi Nagasaka	2015.12	Journée d' études « Mises en pratique de la pensée d' Emmanuel Levinas »	○
発表 (その他)	「超限と無限:カントールを経由するテンゲイのフッサール論」	長坂真澄	2015.11	日本現象学会	○
発表 (その他)	「無限のアンティノミー:リシールのカントール読解を考察する」	長坂真澄	2016.03	日仏哲学会	○

指導教員	森田 敦郎	講座/研究分野	人類学
------	-------	---------	-----

学生氏名	上杉 健志	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Toxic Epidemics: Agent Orange Sickness in Vietnam and the United States	Tak Uesugi	2015.09	Medical Anthropology: Cross-Cultural Studies in Health and Illness	○
学術論文 (学会誌)	枯葉剤の副作用とバイオ市民性の変容	上杉健志	印刷中	Contact Zone	○
学術論文 (学会誌)	軍事環境人類学の展望	上杉健志	印刷中	文化人類学	○
書評	書評：トム・ギル、ブリギッテ・シテーガ、デビッド・スレイター編、『東日本大震災の人類学——津波、原発事故と被災者たちの「その後」』	上杉健志	2015.12	人文書院	—

○研究助成

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2015.04	上杉 健志	平成 27 年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）	独立法人 日本学術振興会

教育学系

指導教員	中澤 渉	講座/研究分野	教育社会学
------	------	---------	-------

学生氏名	白川 俊之	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国内学会	理科系専門教育 (STEM) 志向に見られる性差の生成メカニズムの分析	白川 俊之	2016.03	第 61 回数理社会学会大会, 上智大学	—
著書	大学・短大の専門分野はどのように決まるのか——出身階層と高等教育の学科・専攻選択との関係	白川 俊之	2015.09	格差社会の中の高校生——家族・学校・進路選択	—
著書	The Impact of Employment System on Feeling of Happiness in Germany and Japan	Shirakawa, Toshiyuki	2016.01	Advances in Happiness Research: A Comparative Perspective	○

指導教員	中村 安秀	講座/研究分野	紛争復興開発論
------	-------	---------	---------

学生氏名	BELARGA.O.T	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発行/発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文 (学会誌)	Assessment of Education Services for Children with Physical Disabilities in Manila, Philippines	Belarga, Oliver and Nakamura, Yasuhide	2016.02	International Contemporary Research Journal in Management and Social Science Vol. 1. Issue 2 pp. 15-22	○
国際会議 (proc.あり)	Disaster Management Programs for People with Disabilities in the Philippines: An Overview of Current Situation and Future Trends	Belarga, Oliver	2015.11	3rd Symposium on Asian Agenda for Young Scholars from Japan, China and Korea (Korea)	—
国際会議 (proc.なし)	Assesment of Psychological Factors Associated with Typhoon Haiyan: Impact on Disaster Preparedness	Belarga, Oliver	2015.11	4th International Workshop on Psychological Intervention After Disasters	—
国際会議 (proc.なし)	Disaster Management Programs for People with Disabilities in the Philippines: An Overview of Current Situation and Future Trends	Belarga, Oliver	2016.02	International Workshop on Multiculturalism, Baku, Azerbaijan	—